

AnyWire DB シリーズ  
Ethernet/AnyWireBus DB ゲートウェイ  
GateServer2  
AG478-GS-□P(ブラウザ設定編)  
**ユーザーズマニュアル**

1.0 版 2022/04/18

## 注意事項

---

### ●このマニュアルに対するご注意



1. このマニュアルは、AnyWire システム全般での考え方について記載したものです。個別製品の取り扱いについては、必ず個々の「製品説明書」をお読みください。
2. このマニュアルの一部、または全部を無断で転載、複製する事は、お断りします。
3. このマニュアルの内容については、将来予告なしに変更する場合があります。

### ●安全上のご注意 （ご使用前に必ずお読みください）

本製品のご使用に際しては、本マニュアルおよび本マニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って、正しい取扱いをしていただくようお願いいたします。

本マニュアルで示す注意事項は、本製品に関するもののみにについて記載したものです。

システムとしての安全上のご注意に関しては、CPU ユニットなどコントローラ側のユーザーズマニュアルを参照してください。

この「安全上のご注意」では、安全注意事項のランクを「 警告」、「 注意」として区分してあります。




取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。



取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、

 注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

本マニュアルは必要なときに読めるよう大切に保管すると共に、必ず最終ユーザーまでお届けいただくようお願いいたします。

## 【製品の適応について】



- AnyWireシステムをご使用になる場合は、万一製品に故障、不具合が発生しても重大な事故に至らない用途であり、またフェールセーフ、バックアップ機能は弊社製品の外部でシステム構成されていることを条件とさせていただきます。
- AnyWireシステムは、一般工業等の用途を対象とした汎用品として設計されており、また安全性確保を目的とした制御機能を有するものではありません。  
従いまして、医療機器、原子力等発電所、鉄道、航空、安全用機器等、高い安全性が必要とされる用途については適応を除外させていただきます。
- 本機に対し、第三者からの不正アクセスによる情報漏えいおよび改ざんなどを防ぐため、ファイアウォールの設置などセキュリティ対策を確実に行ってください。不正アクセスにより発生するシステムトラブル上の諸問題に対して、当社は一切その責任を負うことができません。

## 【設計上の注意事項】



- AnyWireのシステムは高い耐ノイズ性を持っていますが、伝送ラインや入出力ケーブルは、高圧線や動力線から離してください。100mm以上を目安として離してください。誤動作の原因になります。
- 安全のための非常停止回路やインタロック回路などは、AnyWireシステム以外の外部回路に組み込んでください。

## 【取付け上の注意事項】



- AnyWire製品は、ユーザズマニュアルに記載の一般仕様の環境で使用してください。  
一般仕様の範囲以外の環境で使用すると、感電、火災、誤動作、製品の損傷あるいは劣化の原因になります。
- それぞれの機器は正しく装着してください。誤動作、故障、落下の原因になります。  
DINレールに装着する場合は、必ず固定フック側が上になるような姿勢で取り付けてください。  
可動フック側を上にして支えると、振動やケーブル重量等で脱落する可能性があります。  
確実に固定するため、DINレールストッパの併用を強くお勧めします。  
ねじ固定する場合は、規定トルク範囲内で行ってください。  
締付けが緩い、また締付過ぎは機器の破損や脱落、誤動作の原因になります。
- 機器の着脱は、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。  
電流の回り込み等による損傷や誤動作の原因となります。
- 導電部分や電子部品には直接触らないでください。誤動作、故障の原因になります。

## 【配線上の注意事項】



- 端子ねじの締付けは、規定トルク範囲内で行ってください。端子ねじの締付けがゆるいと、短絡、火災、誤動作の原因になります。端子ねじを締め過ぎると、ねじやユニットの破損による落下、短絡、誤動作の原因になります。
  - ユニット内に、切粉や配線クズなどの異物が入らないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。
  - ユニットは、配線時にユニット内へ配線くすなどの異物が混入するのを防止するため、ユニット上部に混入防止ラベルを貼り付けています。配線作業中は、本ラベルをはがさないでください。システム運転時は、放熱のために本ラベルを必ずはがしてください。
  - 誤配線は機器に損傷を与えることがあります。また、コネクタや電線がはずれないように、ケーブル長や配置に注意してください。
  - 端子台により線を接続する場合、はんだ処理をしないでください。接触不良の原因になります。
  - 電源ラインの配線長が長い場合、電圧降下により遠隔のリモートユニットの電源電圧が不足することがありますので、外部供給電源を接続して規定の電圧を確保してください。
  - AnyWireシステム全体の配線や接続が完了しない状態で、DC24V電源を投入しないでください。
  - AnyWireシステム機器には、DC24V安定化直流電源を使用してください。
  - 制御線や伝送ケーブルは、主回路や動力線と束線したり、近接したりしないでください。ノイズにより、誤動作の原因になります。
  - ユニットに接続する電線やケーブルは、必ずダクトに納めるか、またはクランプによる固定処理を行ってください。ケーブルをダクトに納めなかったり、クランプによる固定処理をしていないと、ケーブルのふらつきや移動、不注意の引っ張りなどによるユニットやケーブルの破損、ケーブルの接続不良による誤動作の原因となります。
  - ユニットに接続されたケーブルを取りはずすときは、ケーブル部分を手に持って引っ張らないでください。コネクタ付きのケーブルは、ユニットの接続部分のコネクタを手で持って取りはずしてください。
- 端子台接続のケーブルは、端子台端子ねじを緩めてから取りはずしてください。ユニットに接続された状態でケーブルを引っ張ると、誤動作またはユニットやケーブルの破損の原因となります。

## 【立上げ・保守時の注意事項】



- 通電中に端子に触れないでください。感電または誤動作の原因になります。
- 清掃、端子台上のねじ、ユニット取付けねじの増し締めは、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。全相遮断しないと、感電の恐れがあります。ねじの締付けがゆるいと、短絡誤動作の原因になります。ねじを締め過ぎると、ねじやユニットの破損による落下、短絡、誤動作の原因になります。



- 各ユニットの分解、改造はしないでください。故障、誤動作、ケガ、火災の原因になります。
- ユニットの着脱は、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。全相遮断しないと、ユニットの故障や誤動作の原因になります。
- ユニットに触れる前には必ず接地された金属に触れて人体などに帯電している静電気を放電してください。静電気を放電しないとユニットの故障や誤動作の原因になります。

## 【廃棄時の注意事項】



- 本製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱ってください。
- 本製品はボタン電池（CR2032）を内蔵しております。  
破棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。  
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

# 目次

<b>第1章 製品仕様</b>	<b>8</b>
仕様	8
<b>第2章 ログイン</b>	<b>9</b>
ログイン	9
「ログイン/時刻設定」画面	9
<b>第3章 運転監視</b>	<b>11</b>
空調設備（EP）	11
「運転画面 / 空調設備」画面	11
照明設備（EP）	14
「運転画面 / 照明設備」画面	14
一般設備	16
「運転画面 / 一般設備」画面	16
<b>第4章 デマンド監視</b>	<b>18</b>
リアルタイム監視	18
「デマンド監視／リアルタイム」画面	18
「デマンド監視／計測履歴」画面	20
<b>第5章 ログ</b>	<b>21</b>
現在ログ	21
現在ログ画面	21
ログ履歴	22
ログ履歴画面	22
トレンドデータ	23
トレンドデータダウンロード画面	23
<b>第6章 設備登録</b>	<b>24</b>
空調設備（EP）	24
「機器登録 / 空調設備」画面	24
照明設備（EP）	27
「機器登録 / 照明設備」画面	27
一般設備	30
「一般設備登録」画面	30
「エニイワイヤ機器登録一覧」画面	31
<b>第7章 システム</b>	<b>36</b>
ネットワーク設定	36
「ネットワーク設定」画面	36
VPN 設定（EP）	38
「VPN 設定」画面	38
通信インターフェース（EP）	41

「通信インターフェース」画面.....	41
タイムゾーン .....	42
「タイムゾーン」画面 .....	42
データ転送設定.....	43
「データ転送設定」画面 .....	43
制御パラメータ.....	45
「制御パラメータ」画面 .....	45
ユーザー登録 .....	48
「ユーザー登録」画面 .....	48
「管理グループ登録」画面.....	50
日毎スケジューラ（EP） .....	52
「システム / 日毎スケジューラ」画面 .....	52
マスタスケジューラ（EP） .....	54
「システム / マスタスケジューラ」画面 .....	54
メンテナンス .....	58
「メンテナンス」画面 .....	58
トレンド設定 .....	61
「トレンド設定」画面 .....	61
デマンド転送設定（EP） .....	63
「デマンド転送設定」画面.....	63
<b>第 8 章 通信異常時の動作.....</b>	<b>65</b>
AnyWire 通信 .....	65
入力.....	65
出力.....	65
ID エラー .....	65
SLMP（MC プロトコル）通信.....	65
Modbus/TCP 通信 .....	66
<b>第 9 章 トラブルシューティング.....</b>	<b>67</b>
AnyWire 側.....	67
Ethernet システム側.....	69
<b>第 10 章 メンテナンス.....</b>	<b>70</b>
ファクトリーモード.....	70
内部ファームウェアのアップデート .....	70
<b>第 11 章 保証について .....</b>	<b>72</b>
<b>第 12 章 変更履歴 .....</b>	<b>73</b>

# 第1章 製品仕様

本章では、本製品の設定に必要な機器と設定方法についてについて説明します。

必要な機器 画面サイズ 1280x1024 以上が表示できる PC

サポートブラウザ Edge、chrome、firefox、safari の最新版

ネットワーク設定 192.168.0.36/192.168.1.36 へアクセスできる環境

## 概要

AG478-GS-□P は、Ethernet と AnyWire DB A40/A20 のゲートウェイで、Linux ベースで動作し、各種プロトコルのサーバ、データ加工、データロギング機能を持っています。

搭載機能により SP 版（スタンダードパッケージ）、EP 版（エコパッケージ）となります。

AG478-GS-SP：スタンダードパッケージ

AG478-GS-EP：エコパッケージ

通信プロトコルは Modbus/TCP（サーバ/クライアント）、SLMP（MC プロトコル）クライアント、http(s)、ssh、ftp、syslog 等をサポートします。

## 仕様

### ■ 一般仕様

項目	仕様
使用周囲温度	0～ +50℃
保存温度	-20～ +75℃
使用周囲湿度	10～90% R H（結露なきこと）
雰囲気	腐食性ガス 可燃性ガスなきこと
仕様標高※1	0～2000m
汚染度※2	2 以下

※1 本機を標高 0m の大気圧以上に加圧した環境で使用、または保存しないでください。

誤動作の原因となります。

※2 その機器が使用される環境における、導電性物質の発生度合を示す指標です。

汚染度 2 は、非導電性の汚染しか発生しません。

ただし、偶発的な凝結によって一時的な導電が起こりうる環境です。



## 第2章 ログイン

本章では、GateServer2 へのログインについて説明します。

工場出荷状態では各 LAN ポート（GLan/FLan）の IP アドレスはそれぞれ 192.168.0.36/192.168.1.36 に設定されています。

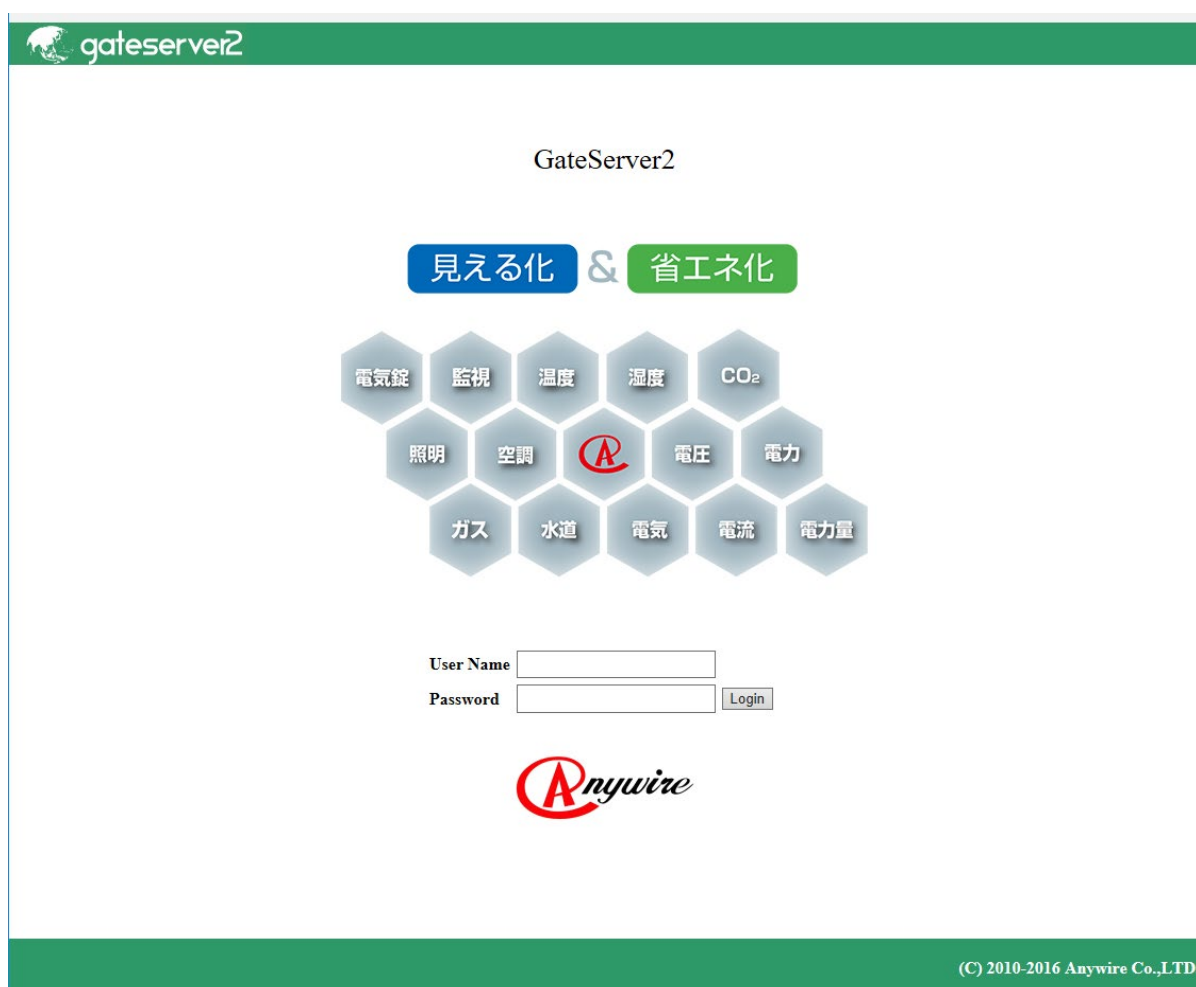
ブラウザの URL に IP アドレスを入力するとログイン画面にアクセスできます。

内蔵電池が切れた状態で起動すると、時刻設定画面が表示されます。

※EP 版で VPN 設定が行われている場合は、証明書の有効期限開始日に自動設定されます。

### ログイン

#### 「ログイン/時刻設定」画面

[ログイン](#)

The screenshot shows the GateServer2 login interface. At the top, there's a green header with the 'gateserver2' logo. Below it, the text 'GateServer2' is centered. A blue button labeled '見える化' (Visualization) and a green button labeled '省エネ化' (Energy Saving) are positioned above a cluster of hexagonal icons representing various monitoring functions: 電気錠 (Electric Lock), 監視 (Monitoring), 温度 (Temperature), 湿度 (Humidity), CO<sub>2</sub>, 照明 (Lighting), 空調 (Air Conditioning), 電圧 (Voltage), 電力 (Power), ガス (Gas), 水道 (Water Supply), 電気 (Electricity), 電流 (Current), and 電力量 (Electricity). In the center of these icons is the Anywire logo. Below the icons, there are input fields for 'User Name' and 'Password', followed by a 'Login' button. At the bottom, the Anywire logo is displayed again, and a green footer contains the copyright notice '(C) 2010-2016 Anywire Co.,LTD.'.

項目	内容
User Name	ユーザー登録で設定したユーザーIDを入力します。
Password	ユーザー登録で設定したパスワードを入力します。 ※パスワードリセット機能はありません。 パスワードを忘れた場合は管理者に再設定を依頼してください。
Login	ログインを行いメニュー画面へ遷移します。



## 時刻設定

GateServerの内蔵時計がリセットされています。  
現在の時刻を設定してください。

日時
 2019年 ▼
 01月 ▼
 01日 ▼
 00時 ▼
 00分 ▼
 00秒 ▼
 時刻設定

[ログイン画面へ移動](#)

(C) 2010-2018 Anywire Co.,LTD.

項目	内容
時刻設定	GateServer2 へ設定する時刻の初期値を設定します。 この画面が表示されている場合はバックアップ電池が消耗しています。 ※ntp を設定している場合は自動的に同期されます。
ログイン画面へ移動	ログイン画面へ遷移します。

## 第3章 運転監視

本章では、運転監視画面について説明します。

EP 版では空調監視、照明監視、一般監視画面を表示することが出来ます。

SP 版では一般監視画面を表示することが出来ます。

! ※メニューに（EP）と記述がある項目は EP 版専用の機能となります。

### 空調設備（EP）

#### 「運転画面 / 空調設備」画面



項目	内容
フォルダツリー	管理グループで作成したフォルダを階層表示します。 機器の登録/表示は3階層目のみとなります。
運転画面 運転状態アイコン	3階層目のフォルダに登録された空調機器の情報を簡易表示します。 1画面では16台までの情報を表示します。 16台を超えた空調機器は次ページで表示できます。 空調機器の運転状態に応じて6種類のアイコンで表示されます。 暖房運転、冷房運転、送風運転、ドライ運転、自動運転、運転停止
「グラフ」	グラフ表示画面へと遷移します。
空調設備簡易表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>空調設備名：設備登録画面で設定した機器名称が表示されます。クリックすると空調設備操作設定ダイアログが表示されます。</li> <li>吸込温度：空調機から収集した温度を表示します。</li> <li>設定温度：空調機に設定された温度を表示します。</li> <li>フィルタ：フィルタ状態を表示します。</li> <li>スケジュール：スケジュール運転の対象可否を表示します。</li> </ul>

■「空調設備操作設定」ダイアログ



空調設備操作設定

仮想空調機

温調モード リモコン操作 運転モード 設定温度 風量 風向 フィルタ

手動 可能 暖房 17 0 0 正常

手動 可能 暖房 17 0 0 リセット

スケジュール 設備状態 稼働状態 デマンド

無効 停止中 稼働中 なし

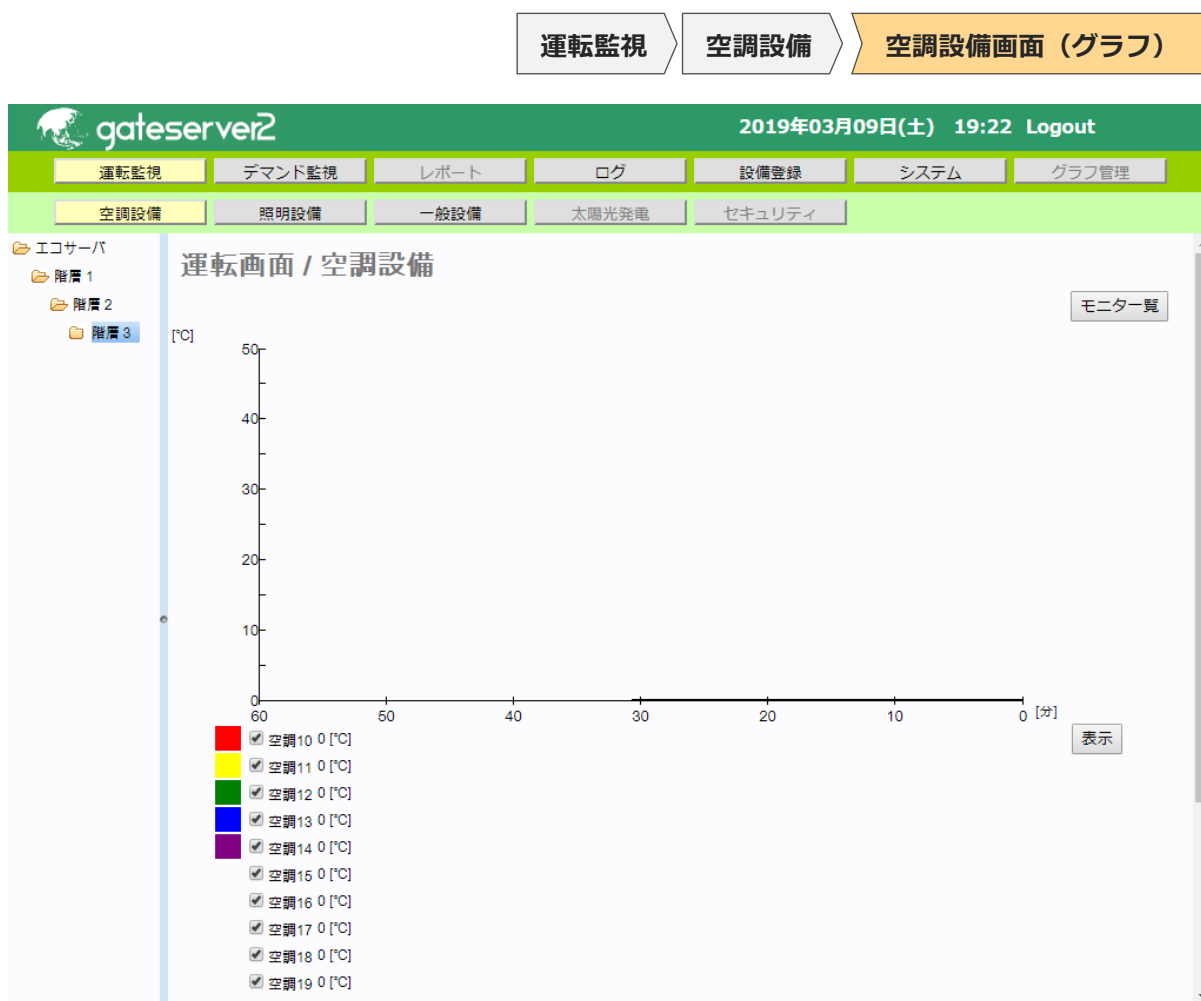
有効 無効 運転 停止 稼働 メンテ なし

現在温度:0°C

キャンセル 設定

項目	内容
空調設備名	設備登録画面で設定した機器名称が表示されます。
温調モード	手動：温度設定の制御を行いません。 自動：温度設定の制御を行います。
リモコン操作	可能：手元リモコンの操作を可能にします。 禁止：手元リモコンの操作を禁止にします。
運転モード	暖房：暖房運転に設定します。 冷房：冷房運転に設定します。 ファン：送風運転に設定します。
設定温度	温度を設定します。
風量	風量を設定します。
風向	風向を設定します。
フィルタ	フィルタ状態のリセットをします。
スケジュール	有効：スケジュール運転の対象とします。 無効：スケジュール運転の対象外とします。
設備状態	運転：空調を運転状態に設定します。 停止：空調を停止状態に設定します。
稼働状態	稼働/メンテの状態を変更します。 メンテ状態では運転画面の運転状態アイコンが表示されなくなります。
デマンド	デマンド制御の対象段数を設定します。
現在温度	収集した温度を表示します。
「キャンセル」	ダイアログ画面を閉じます。
「設定」	設定内容を保存します。

## ■ 空調設備画面（グラフ）



項目	内容
フォルダツリー	選択されている空調グループを表示します。
グラフ	過去 60 分の温度グラフを表示します。
「モニター一覧」	運転画面へと遷移します。
「表示」	チェックのついた空調温度グラフを再表示します。

照明設備（EP）

「運転画面 / 照明設備」画面

運転監視

照明設備



項目	内容
フォルダツリー	選択されている照明グループを表示します。
照明設備 運転状態アイコン	<ul style="list-style-type: none"><li>● 白熱灯 全灯（L7）、L6～L2、最小（L1）、消灯</li><li>● 調光式蛍光灯 全灯（L7）、L6～L2、最小（L1）、消灯</li><li>● 外灯 点灯、消灯</li><li>● 蛍光灯 点灯、消灯</li></ul>
運転監視照明設備	<ul style="list-style-type: none"><li>● 照明設備名：設備登録画面で設定した機器名称が表示されます。 クリックすると照明設備操作設定ダイアログが表示されます。</li><li>● 調光状態：収集した調光状態を表示します。</li><li>● 調光設定：設定した調光状態を表示します。</li><li>● スケジュール：スケジュール運転の対象可否を表示します。</li></ul>

## ■「照明設備操作設定」ダイアログ

運転監視

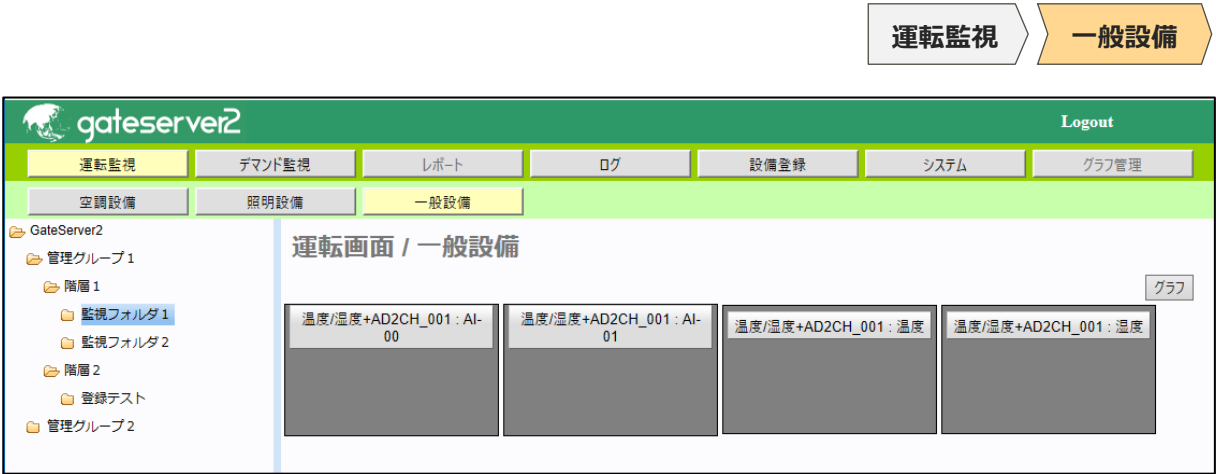
空調設備


空調設備操作設定

項目	内容
照明設備名	設備登録画面で設定した機器名称が表示されます。
スケジュール	有効：スケジュール運転の対象とします。 無効：スケジュール運転の対象外とします。
設備状態	運転：照明を運転(点灯)状態に設定します。 停止：照明を停止(消灯)状態に設定します。
稼働状態	稼働/メンテの状態を変更します。 メンテ状態では運転画面の運転状態アイコンが表示されなくなります。
デマンド	デマンド制御の対象段数を設定します。
調光	調光を設定します。
「キャンセル」	ダイアログ画面を閉じます。
「設定」	設定内容を保存します。

一般設備

「運転画面 / 一般設備」画面



項目	内容
フォルダツリー	選択されている一般機器（AnyWire ターミナル）を表示します。
モニター覧	フォルダに登録された一般機器の情報を簡易表示します。 1 画面では 16 台までの情報を表示します。 16 台を超えた一般機器は次ページで表示できます。 <div> ※断線検知または未接続の項目はグレー表示となります。</div>
「グラフ」	グラフ画面へと遷移します。



参考

空調設備・照明設備・一般設備を同じグループに登録しても同時に表示することはできません。

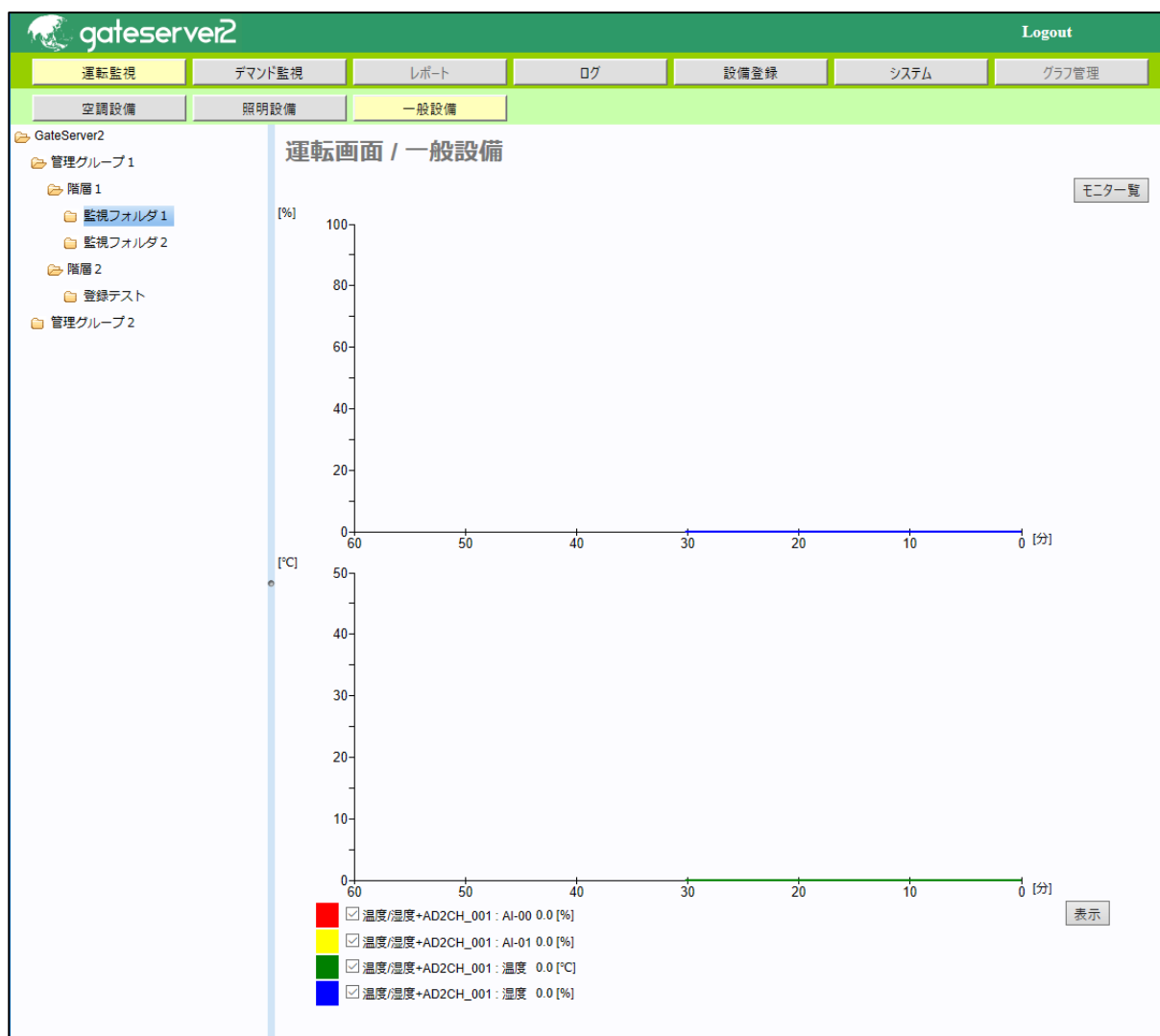


## ■ 一般設備画面（グラフ）

運転監視

一般設備

一般設備画面（表示）



項目	内容
フォルダツリー	選択されている一般機器（AnyWire ターミナル）を表示します。
グラフ	過去 60 分の収集値グラフを表示します。
「モニター一覧」	運転画面へと遷移します。
「表示」	チェックのついた一般機器グラフを再表示します。

# 第4章 デマンド監視

本章では、デマンド監視／リアルタイム機能について説明します。


！ デマンド監視を行うにはパルスカウンタターミナルを使用して電力量を計測する必要があります。

## リアルタイム監視

### 「デマンド監視／リアルタイム」画面



項目	内容
グラフ	30/60 分のリアルタイムデマンドグラフを表示します。
「デマンド 1」	押下するとグラフエリアにデマンド設定 1 のグラフが表示されます。
「デマンド 2」	押下するとグラフエリアにデマンド設定 2 のグラフが表示されます。
予想デマンド	選択されたデマンド設定の予測デマンド値が表示されます。
制御 ON デマンド	選択されたデマンド設定の制御 ON デマンド値が表示されます。
目標デマンド	選択されたデマンド設定の目標デマンド値が表示されます。
制御 OFF デマンド	選択されたデマンド設定の制御 OFF デマンド値が表示されます。
現在値	選択されたデマンド設定の現在値が表示されます。

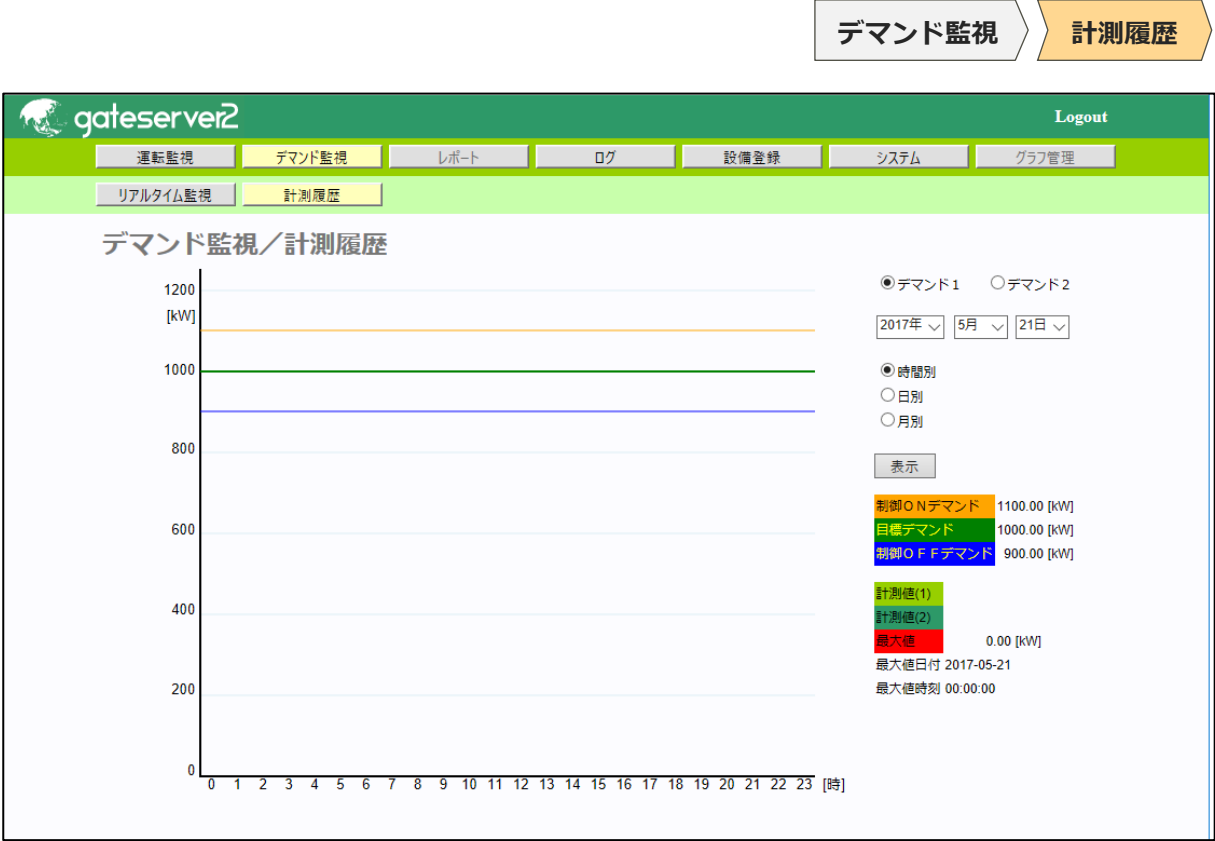
デマンド 1～3 段	デマンド制御 1～3 段の次の状態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 現在の制御状態</li><li>● 制御が ON になった累積時間</li></ul>
デマンド残時間	現在のデマンド時間の残時間が表示されます。
デマンドマスク時間	選択されたデマンド設定のマスク時間が表示されます。 <div> <b>マスク時間</b> マスク時間とは、デマンド時間幅で指定した時間帯のうち、制御を実施しない、開始からの時間です。</div>



参考

制御パラメータ

「デマンド監視／計測履歴」画面



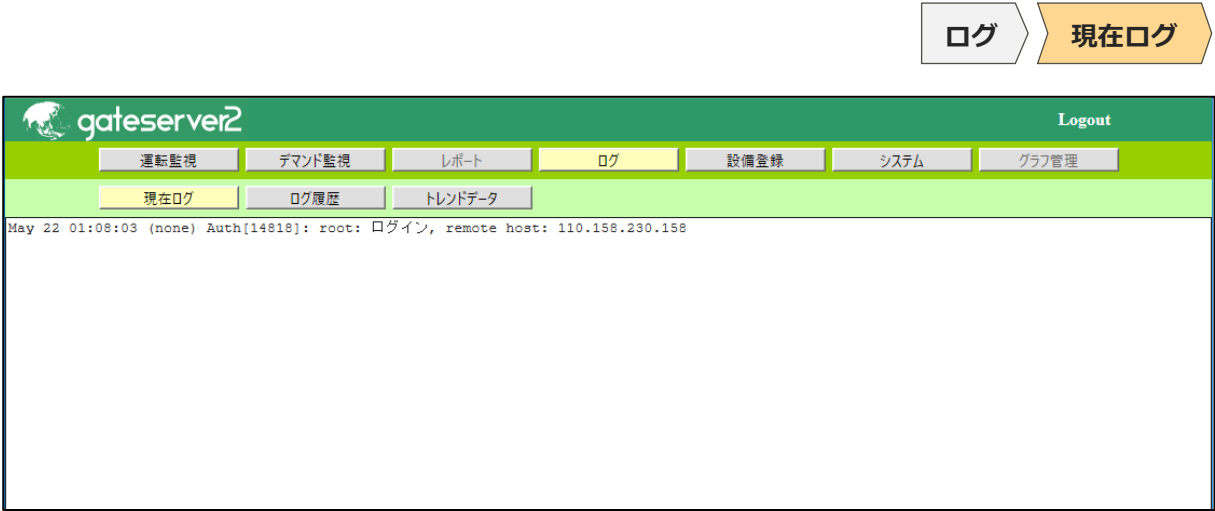
項目	内容
「デマンド1」 「デマンド2」	グラフに表示するデマンド設定を指定します。
日付（年月日）	グラフに表示する日付を選択します。
表示期間	グラフに表示する期間を選択します。
「表示」	押下すると指定した条件のグラフを表示します。
制御 ON デマンド	表示されたデマンド設定の制御 ON デマンド値が表示されます。
目標デマンド	表示されたデマンド設定の目標デマンド値が表示されます。
制御 OFF デマンド	表示されたデマンド設定の制御 OFF デマンド値が表示されます。
最大値	表示された期間中の最大値が表示されます。
最大値日付	表示された期間中、最大値となった日付が表示されます
最大値時刻	表示された期間中、最大値となった時間が表示されます

# 第5章 ログ

本章では、ログ機能について説明します。

## 現在ログ

### 現在ログ画面



項目	内容
現在ログ	本日発生したすべてのログを表示します。 絞り込みを行う場合はログ履歴画面で条件を指定します。

## ログ履歴

### ログ履歴画面

ログ

ログ履歴

gateserver2 Logout

運転監視 デマンド監視 レポート ログ 設備登録 システム グラフ管理

現在ログ ログ履歴 トrendデータ

日時 2017年 05月 21日 local\_20170521.log

管理Gr ---

May 21 00:38:31 (none) Auth[1993]: root: ログイン, remote host: 49.109.136.11  
 May 21 00:39:29 (none) Auth[2662]: root: ログアウト, remote host: 49.109.136.11  
 May 21 00:48:06 (none) Auth[5181]: root: ログイン, remote host: 49.109.136.11  
 May 21 00:56:55 (none) Auth[9152]: root: ログアウト, remote host: 49.109.136.11  
 May 21 00:57:06 (none) Auth[9216]: root: ログインエラー, remote host: 49.109.136.11  
 May 21 00:57:17 (none) Auth[9273]: root: ログイン, remote host: 49.109.136.11  
 May 21 14:47:12 (none) Auth[25059]: root: ログイン, remote host: 183.72.21.240  
 May 21 14:49:40 (none) Auth[26395]: root: ログアウト, remote host: 183.72.21.240  
 May 21 14:51:57 (none) Auth[27063]: root: ログイン, remote host: 183.72.21.240

項目	内容
日時（年月日）	表示したいログの日付を[年][月][日]で指定します。一部だけの指定も可能です。指定した日付に該当するログファイルが存在する場合、[ログファイル]フィールドにファイル名が一覧されます。
ログファイル	表示したいログファイルを選択します。
ログの種類	<p>ログ種別でのログ表示条件を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● すべて（"-----"）</li> <li>● システム</li> <li>● ログイン/ログアウト</li> <li>● 一般警報</li> <li>● アナログ上下限警報</li> <li>● 動作記録</li> <li>● スケジューラ制御</li> <li>● パトロール</li> </ul>
管理 Gr	管理グループでのログ表示条件を指定します。指定は管理グループの各階層の一部でも可能です。
「表示」	押下すると[ログファイル]で指定したログファイルの内容を、指定した条件に絞り込んで下部のログ表示領域に表示します。



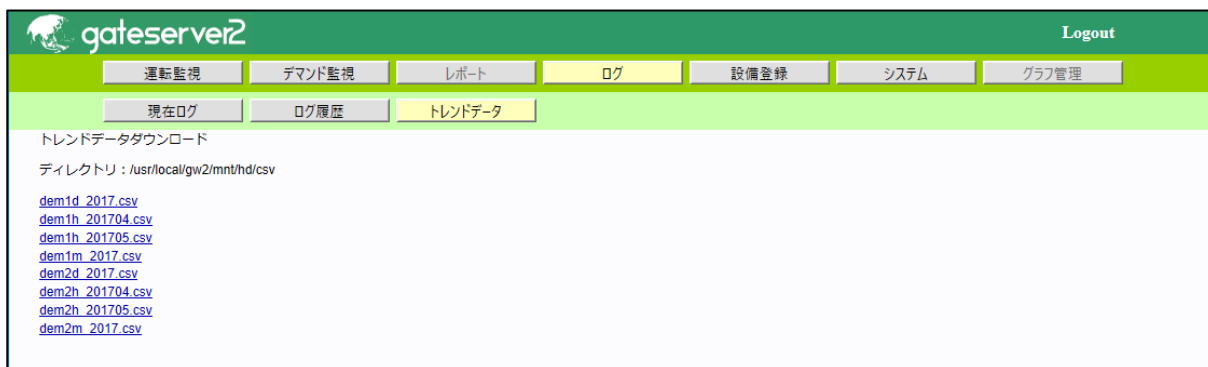
ログ履歴は 31 日分保存されます。


## トレンドデータ

### トレンドデータダウンロード画面

ログ

トレンドデータ



項目	内容
ディレクトリ	ログファイルが格納されているディレクトリが表示されます。
ダウンロードファイル一覧	<p>ファイル名をクリックするとログファイルがダウンロードできます。</p> <p> <b>safari をお使いの場合</b></p> <p>safari ではファイル名のショートカットメニューを開き（副ボタンのクリック）、[リンク先のファイルをダウンロード]を選択してダウンロードしてください。</p>

# 第6章 設備登録

本章では、空調設備/照明設備/一般設備(AnyWire ターミナル)の設備登録について説明します。

## 空調設備（EP）

### 「機器登録 / 空調設備」画面

設備登録

空調設備

gateserver2

Logout

運転監視

デマンド監視

レポート

ログ

設備登録

システム

グラフ管理

空調設備

照明設備

一般設備

機器登録

GateServer2

管理グループ1

階層1

監視フォルダ1

監視フォルダ2

階層2

登録テスト

管理グループ2

機器登録 / 空調設備

名称

仮想空調機

フィルタサイン

通信

I/F

Modbus2 / V-AC

吸込温度

通信

種別

標準

異常入力

通信

ブロックアドレス

1

管理Gr1

管理グループ1

空調機No./Gr

1

管理Gr2

階層1

代表機指定

非代表

管理Gr3

監視フォルダ1

AnyWire(起動)

---

デマンド制御

なし

AnyWire(停止)

---

トレンド取得

する

AnyWire(フィルタ)

---

ログ

する

AnyWire(温度)

---

AnyWire(異常)

---

状態

☒ 起動中/停止中

☒ 温調モード

☒ 運転モード

☒ 吸込温度

☒ 風量

☒ 風向

☒ フィルタ交換

☒ サーモOFF

☒ サーモ状態

☒ リモコンモード

☒ 稼動時間

☒ 稼動回数

☐ 電力按分積算値

☐ 電力按分差分値

☐ ガス按分積算値

☐ ガス按分差分値

☐ サーモON時間積算値

☐ サーモON時間差分値

☐ 起動/停止

☐ 温調モード

☐ 運転モード

☒ 設定温度

☐ 風量設定

☐ 風向設定

☐ フィルタリセット

☐ サーモOFF

☐ リモコンモード設定

設定

削除

元に戻す

空調設備設定一覧

Tag	名称	I / F	種別	アドレ	空調機No.	代表機	フィルタ	吸込	異常	Gr1	Gr2	Gr3	デマ
<input checked="" type="radio"/>	仮想空調機	Modbus2 / V-AC	標準	1	1	非代表	通信	通信	通信	管理グループ1	階層1	監視フォルダ1	なし
<input type="radio"/>													

項目	内容
フォルダツリー	管理グループで作成したフォルダを階層表示します。 機器の登録/表示は3階層目のみとなります。
名称	空調設備の名称を入力します。




I/F	空調設備を制御するインターフェースを設定します。
種別	この項目は現在未使用です。
ブロックアドレス	空調設備のブロックアドレスを設定します。
空調機 No./Gr	空調設備の空調機 No./Gr を設定します。
代表機指定	空調設備の代表/非代表を設定します。 非代表を設定するとパラメータ収集のみとなり制御が行われません。
AnyWire(起動)	この項目は現在未使用です。
AnyWire(停止)	この項目は現在未使用です。
AnyWire(フィルタ)	この項目は現在未使用です。
AnyWire(温度)	この項目は現在未使用です。
AnyWire(異常)	この項目は現在未使用です。
フィルタサイン	空調設備のフィルタサイン情報収集方法を設定します。
吸込温度	空調設備の吸込温度情報収集方法を設定します。
異常入力	空調設備の異常入力情報収集方法を設定します。
管理 Gr1	空調設備のグループを表示します。この項目は変更しないでください。
管理 Gr2	空調設備のグループを表示します。この項目は変更しないでください。
管理 Gr3	空調設備のグループを表示します。この項目は変更しないでください。
デマンド制御	空調設備のデマンド制御方法を設定します。
トレンド取得	空調設備のトレンド取得有無を設定します。
ログ	空調設備のログ出力有無を設定します。
状態	有効に設定した項目が空調トレンドの出力対象となります。
設定	有効に設定した項目が空調トレンドの出力対象となります。
「設定」	設定内容を保存します。
「削除」	設定内容を削除します。
「元に戻す」	変更した項目の内容を表示時の状態に戻します。

#### ◆ 空調設備設定一覧

項目	内容
Tag	選択された空調設備の設定情報を空調設備登録画面へ表示します。
名称	空調設備画面で登録された設定情報を表示します。
I / F	空調設備画面で登録された設定情報を表示します。
種別	空調設備画面で登録された設定情報を表示します。
アドレス	空調設備画面で登録された設定情報を表示します。
空調機 No.	空調設備画面で登録された設定情報を表示します。

代表機	空調設備画面で登録された設定情報を表示します。
フィルタ	空調設備画面で登録された設定情報を表示します。
吸込	空調設備画面で登録された設定情報を表示します。
異常	空調設備画面で登録された設定情報を表示します。
Gr1	空調設備画面で登録された設定情報を表示します。
Gr2	空調設備画面で登録された設定情報を表示します。
Gr3	空調設備画面で登録された設定情報を表示します。
デマンド	空調設備画面で登録された設定情報を表示します。

 空調設備登録を行った際には必ず「設定作成」を実行してください。

## 照明設備（EP）

### 「機器登録 / 照明設備」画面

設備登録
照明設備

gateserver2

Logout

運転監視
デマンド監視
レポート
ログ
設備登録
システム
グラフ管理

空調設備
照明設備
一般設備
機器登録

GateServer2

- 管理グループ1
  - 階層1
    - 監視フォルダ1
    - 監視フォルダ2
  - 階層2
    - 登録テスト
- 管理グループ2

#### 機器登録 / 照明設備

名称

I/F

種別

Ch No.

負荷No.

Anywireアドレス

AnyWire(起動)

AnyWire(停止)

AnyWire(状態)

AnyWire(照度)

AnyWire(調光)

AnyWire(異常)

調光設定

パターン

グループ

管理Gr1

管理Gr2

管理Gr3

デマンド制御

トレンド取得

ログ

状態 ☒ 起動中/停止中 ☒ 調光レベル ☒ 稼働時間 ☒ 稼働回復

設定 ☐ 起動/停止 ☐ 調光設定

#### 照明設備設定一覧

Tag	名称	I / F	種別	Ch No.	負荷 No.	Any	起動	停止	状態	照度	調光	異常	調光設定
<input checked="" type="radio"/>	照明設備α	RS Port1 / C-IFU	白熱灯	0	1	---	---	---	---	---	---	---	---
<input type="radio"/>	照明設備β	RS Port3 / C-IFU	白熱灯	0	1	---	---	---	---	---	---	---	---
<input type="radio"/>													


項目	内容
フォルダツリー	管理グループで作成したフォルダを階層表示します。
名称	照明設備の名称を入力します。
I/F	照明設備を制御するインターフェースを設定します。
種別	照明設備の種別を設定します。 <div style="border: 1px solid #add8e6; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <b>白熱灯・調光式蛍光灯は調光制御が可能です。</b> </div>
Ch No.	照明設備の Ch No.を設定します。
負荷 No.	照明設備の負荷 No.を設定します。 <div style="border: 1px solid #ffcc99; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <b>Ch No.、負荷 No.は照明設備のアドレスに合わせてください。</b> </div>

AnyWire アドレス	この項目は現在未使用です。
AnyWire(起動)	この項目は現在未使用です。
AnyWire(停止)	この項目は現在未使用です。
AnyWire(状態)	この項目は現在未使用です。
AnyWire(照度)	この項目は現在未使用です。
AnyWire(調光)	この項目は現在未使用です。
AnyWire(異常)	この項目は現在未使用です。
調光設定	この項目は現在未使用です。
パターン	この項目は現在未使用です。
グループ	この項目は現在未使用です。
管理 Gr1	照明設備のグループを表示します。この項目は変更しないでください。
管理 Gr2	照明設備のグループを表示します。この項目は変更しないでください。
管理 Gr3	照明設備のグループを表示します。この項目は変更しないでください。
デマンド制御	照明設備のデマンド制御方法を設定します。
トレンド取得	照明設備のトレンド取得有無を設定します。
ログ	照明設備のログ出力有無を設定します。
状態	有効に設定した項目が照明トレンドの出力対象となります。
設定	有効に設定した項目が照明トレンドの出力対象となります。
「設定」	設定内容を保存します。
「削除」	設定内容を削除します。
「元に戻す」	変更した項目の内容を表示時の状態に戻します。

#### ◆ 照明設備設定一覧

項目	内容
Tag	選択された照明設備の設定情報を照明設備登録画面へ表示します。
名称	照明設備画面で登録された設定情報を表示します。
I / F	照明設備画面で登録された設定情報を表示します。
種別	照明設備画面で登録された設定情報を表示します。
Ch No.	照明設備画面で登録された設定情報を表示します。
負荷 No.	照明設備画面で登録された設定情報を表示します。
Any	照明設備画面で登録された設定情報を表示します。
起動	照明設備画面で登録された設定情報を表示します。
停止	照明設備画面で登録された設定情報を表示します。
状態	照明設備画面で登録された設定情報を表示します。
照度	照明設備画面で登録された設定情報を表示します。

調光	照明設備画面で登録された設定情報を表示します。
異常	照明設備画面で登録された設定情報を表示します。
調光設定	照明設備画面で登録された設定情報を表示します。

 照明設備登録を行った際には必ず「設定作成」を実行してください。

# 一般設備

## 「一般設備登録」画面

設備登録

一般設備

gateserver2

Logout

運転監視

デマンド監視

レポート

ログ

設備登録

システム

グラフ管理

空調設備

照明設備

一般設備

機器登録

一般設備登録

[エニワイヤ機器登録へ](#)

GateServer2

管理グループ1

階層1

監視フォルダ1

監視フォルダ2

階層2

登録テスト

管理グループ2

管理グループ名

/GateServer2/管理グループ1/階層1/監視フォルダ1/

管理グループID


0004

一般設備(登録済エニワイヤ機器)

機器名称	種別	ターミナル番号	操作
温度/湿度+AD2CH_001: AI-00	アナログ入力	1	<button>抹消</button>
温度/湿度+AD2CH_001: AI-01	アナログ入力	1	<button>抹消</button>
温度/湿度+AD2CH_001: 温度	温度	1	<button>抹消</button>
温度/湿度+AD2CH_001: 湿度	湿度	1	<button>抹消</button>

未登録エニワイヤ機器

要素名称	種別	ターミナル番号	操作
サーミスタ-2CH: 温度-00	温度	2	<button>登録</button>
サーミスタ-2CH: 温度-01	温度	2	<button>登録</button>

項目	内容
フォルダツリー	管理グループで作成したフォルダを階層表示します。 機器の登録/表示は3階層目のみとなります。
「エニワイヤ機器登録へ」	クリックすると「エニワイヤ機器登録一覧」画面が表示されます。
管理グループ名	選択した管理グループの階層名称が表示されます。
管理グループID	選択した管理グループの内部管理IDが表示されます。
一般設備（登録済エニワイヤ機器）	管理グループに登録されている一般機器の一覧が表示されます。 抹消ボタンで登録を解除することが出来ます。
未登録エニワイヤ機器	管理グループに属していない一般機器の一覧が表示されます。 登録ボタンで管理グループに登録することが出来ます。 <div> 運転監視画面で項目を表示するためには管理グループへの登録が必要です。</div>

 一般設備登録を行った際には必ず「設定作成」を実行してください。

## 「エニワイヤ機器登録一覧」画面

設備登録

一般設備

エニワイヤ機器登録一覧

gateserver2 Logout

運転監視 デマンド監視 レポート ログ 設備登録 システム グラフ管理

空調設備 照明設備 一般設備 機器登録


### エニワイヤ機器登録一覧

新規登録 -- ターミナルタイプを選択してください -- -- ターミナルを選択してください -- 追加

ターミナル番号	局番	製品名	ターミナル名称	Bit/Word	アドレス	占有	有効/無効	編集	表示	設定	削除
0	1	デジタル入力1点ターミナル	DI-1CH	bit	0	1/0	有効				
1	1	温度/湿度+AD2CHターミナル	温度/湿度+AD2CH_001	word	0	1/0	有効				
2	1	サーミスタ2点ターミナル	サーミスタ-2CH	word	1	1/0	有効				

登録ターミナル数	3	<span>設定作成</span>
認識ターミナル数	0	<span>アドレス自動認識</span>
異常ターミナル数	0	<span>アラームリセット</span>

項目	内容
新規登録	新規登録を行うターミナルの種類と製品を選択します。
「追加」	「新規登録」で選択したターミナルの追加画面へ遷移します。
ターミナル番号	GateServer 内部管理番号です。
局番	GateServer 内部管理番号です。
製品名	機器登録で選択した製品名が表示されます。
ターミナル名称	機器登録画面で設定した名称が表示されます。
Bit/Word	ターミナルが使用する Bus 種類が表示されます。
アドレス	ターミナルが使用する AnyWire アドレスが表示されます。
占有	ターミナルが占有する入出力アドレス数が表示されます。 (入力占有数/出力占有数)
有効/無効	未使用
編集	をクリックすると、エニワイヤ機器登録画面に遷移します。
表示	をクリックすると、エニワイヤ機器モニター画面に遷移します。
設定	未使用
削除	ターミナルの登録を削除します。
登録ターミナル数	現在登録されているターミナル数が表示されます。
認識ターミナル数	AnyWireBus 上に認識されているターミナル数が表示されます。 認識されているターミナルは断線検知機能が有効になります。
異常ターミナル数	断線検知したターミナル数が表示されます。 断線検知はアラームリセットを行うまで保持されます。

設定作成	<p>登録した機器の設定情報を更新します。</p> <p> <b>機器の設定変更を行った際は必ず実行してください。</b></p>
アドレス自動認識	AnyWireBus に接続されているターミナルの認識を行います。
アラームリセット	断線検知アラームをリセットします。



## ■「エニイワイヤ機器登録」画面

設備登録

一般設備

エニイワイヤ機器登録一覧

エニイワイヤ機器登録

gateserver2 Logout

[運転監視](#)
[デマンド監視](#)
[レポート](#)
[ログ](#)
[設備登録](#)
[システム](#)
[グラフ管理](#)

[空調設備](#)
[照明設備](#)
[一般設備](#)
[機器登録](#)

## エニイワイヤ機器登録

[エニイワイヤ機器登録一覧に戻る](#)

**【ターミナル設定】**

ターミナル番号	0				
有効／無効	有効 ▾				
製品名	デジタル入力1点ターミナル [A442SB-01U]				
ターミナル名称	DI-1CH				
局番	1 ▾				
AW通信設定	自動 ▾		手動アドレス設定 0 ▾		
AWアドレス設定	Bit-In: 0	Bit-Out: 0	Word-In: 0	Word-Out: 0	Mode: 0

**【チャネル設定】**

CH番号	機器ID	有効／無効	信号名称	トレンド	ログ	CH番号	機器ID	有効／無効	信号名称	トレンド	ログ
CH0	10	有効 ▾	DI	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CH16	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH1	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CH17	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH2	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CH18	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH3	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CH19	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH4	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CH20	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH5	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CH21	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH6	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CH22	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH7	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CH23	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH8	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CH24	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH9	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CH25	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH10	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CH26	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH11	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CH27	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH12	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CH28	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH13	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CH29	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH14	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CH30	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH15	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CH31	---	無効 ▾		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

項目	内容
「エニイワイヤ機器登録一覧に戻る」	クリックすると、「エニイワイヤ機器登録一覧」に戻ります。

## ◆ ターミナル設定

項目	内容
ターミナル番号	GateServer 内部管理番号です。
有効／無効	未使用
製品名	新規登録画面で選択した製品名が表示されます。
ターミナル名称	製品略称が表示されます。任意の名称に変更可能です。
局番	GateServer 内部管理番号です。
AW 通信設定	AnyWire アドレス自動採番機能の設定です。 自動：自動採番機能を使用する。 手動：自動採番機能を使用せず手動設定を行う。
手動アドレス設定	AW 通信設定で手動を選択した場合に有効なアドレスです。
AW アドレス設定	未使用

## ◆ チャネル設定

項目	内容
CH 番号	ターミナルの I/O 番号です。0 から自動採番されます。
機器 ID	機器のチャネルを一意に特定する管理番号です。 トレンドのヘッダー項目にも出力されます。
有効/無効	有効：運転監視画面の表示対象となります。 無効：運転監視画面の表示対象となりません。
信号名称	チャネル名称を設定します。
トレンド	チェックを行うとトレンドの出力対象となります。
ログ	チェックを行うと閾値監視・メール発報の監視対象となります。
「取消」	画面項目の変更内容を取り消して表示時の状態へ戻します。
「設定」	画面項目の変更内容を設定します。

## ■ 「エニワイヤ機器モニター」画面

設備登録
一般設備
エニワイヤ機器登録一覧
エニワイヤ機器モニター

Logout

運転監視
デマンド監視
レポート
ログ
設備登録
システム
グラフ管理

空調設備
照明設備
一般設備
機器登録

## エニワイヤ機器モニター

[エニワイヤ機器登録一覧に戻る](#)

【ターミナル情報】

ターミナル番号	0	ターミナル名称	DI-1CH	製品名	デジタル入力1点ターミナル [A442SB-01U]
---------	---	---------	--------	-----	----------------------------

【チャンネルモニター】

データ更新
手動
▼
更新

	信号名称	最小工学値	最大工学値	現在工学値	単位		信号名称	最小工学値	最大工学値	現在工学値	単位
0	DI	-----	-----	false	-----	8					
1						9					
2						10					
3						11					
4						12					
5						13					
6						14					
7						15					

項目	内容
「エニワイヤ機器登録一覧に戻る」	クリックすると、「エニワイヤ機器登録一覧」に戻ります。

## ◆ ターミナル情報

項目	内容
ターミナル番号	GateServer 内部管理番号です。
ターミナル名称	機器登録画面で設定した名称が表示されます。
製品名	機器登録で選択した製品名が表示されます。

## ◆ チャンネルモニター

項目	内容
データ更新 (手動、自動 5/10/15/30/60 秒)	画面のデータ更新タイミングを選択します。 「手動」を選択した場合は、「更新」をクリックするとデータが更新されます。
信号名称	機器登録画面で設定したチャンネル名称が表示されます。
最小工学値	機器登録画面で設定した最小工学値が表示されます。
最大工学値	機器登録画面で設定した最大工学値が表示されます。
現在工学値	ターミナルより収集して演算した値が表示されます。
単位	機器登録画面で設定した単位が表示されます。

# 第7章 システム

本章では、GateServer2 のシステムコンフィグレーション設定について説明します。

## ネットワーク設定

### 「ネットワーク設定」画面

システム

ネットワーク設定

gateserver2

Logout

運転監視

デマンド監視

レポート

ログ

設備登録

システム

グラフ管理

ネットワーク設定

VPN設定

通信インターフェース

タイムゾーン

データ転送設定

制御パラメータ

ユーザ登録

日毎スケジュール

マスタスケジュール

メンテナンス

ゲートサーバ

トレンド設定

デマンド転送設定

管理グループ登録

ネットワーク設定

ポート 1 (10/100/1000)

ポート 2 (10/100)

IPアドレス

192.168.0.123

192.168.0.124

MACアドレス

サブネットマスク

255.255.255.0

255.255.255.0

ブロードキャストアドレス

192.168.0.255

192.168.0.255

DHCP/BOOTP使用

☒無効 ☐有効

☒無効 ☐有効

ゲートウェイアドレス

192.168.0.1

SMTPサーバ:port

SMTPユーザ名

SMTPパスワード

DNS1アドレス

DNS2アドレス

ドメイン名

ホスト名

POPサーバ

POPサーバユーザ名

POPサーバパスワード

設定

項目	内容
IP アドレス	<ul style="list-style-type: none"><li>● ポート 1 (10/100/1000)(1-Glan) ポート 1 で利用する IP アドレスを設定します。</li><li>● ポート 2 (10/100)(2-Flan) ポート 2 で利用する IP アドレスを設定します。</li></ul>
MAC アドレス	ポート 1、ポート 2 の MAC アドレスを表示します。
サブネットマスク	ポート 1、ポート 2 で利用する IP アドレスのサブネットマスクを設定します。

ブロードキャストアドレス	ポート1、ポート2で利用するネットワークのブロードキャストアドレスを設定します。
DHCP/BOOTP 使用	ポート1、ポート2でのDHCP使用可否を設定します。  <b>BOOTP は現在サポートされていません。</b>
ゲートウェイアドレス	ネットワークのゲートウェイアドレスを設定します。
SMTP サーバ:port	SMTP サーバのサーバ名とポート番号を設定します。
SMTP ユーザー名	SMTP サーバに接続する際のユーザー名を設定します。
SMTP パスワード	SMTP サーバに接続する際のパスワードを設定します。
DNS1 アドレス	利用する DNS サーバの IP アドレスを設定します。
DNS2 アドレス	DNS1 アドレスに設定した DNS サーバが利用できないときに利用する DNS サーバの IP アドレスを設定します。
ドメイン名	本機がメールを発信する際に、接続先の SMTP サーバに通知するドメイン名を設定します。
ホスト名	本機がメールを発信する際に、接続先の SMTP サーバに通知するホスト名を設定します。
POP サーバ	POP サーバのサーバ名を設定します。
POP サーバユーザー名	POP サーバに接続する際のユーザー名を設定します。
POP サーバパスワード	POP サーバに接続する際のパスワードを設定します。
「設定」	押下すると各項目に入力した値が保存され、再起動後に反映されます。

# VPN 設定 (EP)

## 「VPN 設定」画面

システム

VPN 設定

gateserver2

Logout

運転監視

デマンド監視

レポート

ログ

設備登録

システム

グラフ管理

ネットワーク設定

VPN設定

通信インターフェース

タイムゾーン

データ転送設定

制御パラメータ

ユーザ登録

日毎スケジュール

マスタスケジュール

メンテナンス

ゲートサーバ

トレンド設定

デマンド転送設定

管理グループ登録

VPN設定

WAN側IPアドレス

☒ ネットワーク設定を使用

☐ WAN側DHCPサーバ使用

☐ 静的アドレス

IPアドレス:

ネットマスク:

ゲートウェイ:

DNSサーバ:

ゲートウェイ機能

☐ 有効

☒ 無効

VPNの開始・停止

仮想IPID:

VPNサーバのIPアドレス:

ポート番号:

このVPNアダプタのID: E77S27zddqJw7zSD

VPN接続状態:

VLAN側IPアドレス

☒ 割り当てない(ゲートウェイ機能が使えません)

☐ VLAN側DHCPサーバ使用

☐ 静的アドレス

IPアドレス:

ネットマスク:

ゲートウェイ:

DNSサーバ:

proxy設定

☒ proxyを使わない

☐ proxyを使う

proxyのIPアドレス:

proxyのポート番号:

ユーザ名:

パスワード:

項目	内容
WAN 側 IP アドレス	<ul style="list-style-type: none"><li>● ネットワーク設定を使用 「ネットワーク設定」画面で、ポート 1 (10/100/1000)に設定した IP アドレスが利用されます。</li><li>● WAN 側 DHCP サーバ使用 WAN 側の DHCP サーバにより割り当てられた IP アドレスが利用されます。</li><li>● 静的アドレス 入力された値を WAN 側 IP アドレスとして利用します。 ・ IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバ</li></ul>
VLAN 側 IP アドレス	<ul style="list-style-type: none"><li>● 割り当てない (ゲートウェイ機能が使えません) VLAN 側 IP アドレスが必要ない(ゲートウェイ機能を使わない)場合に選択します。</li><li>● VLAN 側 DHCP サーバ使用</li></ul>

	<p>VLAN 側の DHCP サーバにより割り当てられた IP アドレスが利用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 静的アドレス 入力された値を WAN 側 IP アドレスとして利用します。 ・ IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバ</li> </ul>
ゲートウェイ機能	<p>ゲートウェイ機能を有効にするかどうかを設定します。</p> <p>VLAN 側 IP アドレスを割り当てない場合、無効となります。</p>
VPN の開始・停止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仮想ハブ ID VPN の仮想ハブの ID を表示します。</li> <li>● VPN サーバの IP アドレス VPN サーバの IP アドレスを表示します。</li> <li>● ポート番号 VPN サーバのポート番号を表示します。</li> <li>● この VPN アダプタの ID 本機の VPN アダプタの ID を表示します。</li> <li>● VPN 接続状態 VPN の接続状態を表示します。</li> <li>● 「開始」 押下すると VPN 接続を開始します。</li> <li>● 「停止」 押下すると VPN 接続を停止します。</li> </ul>
Proxy 設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● proxy を使わない/proxt を使う VPN 接続でプロキシサーバを利用するかどうかを設定します。</li> <li>● proxy の IP アドレス プロキシサーバの IP アドレスを設定します。</li> <li>● proxy のポート番号 プロキシサーバのポート番号を設定します。</li> <li>● ユーザー名 プロキシサーバに接続する際のユーザー名を設定します。</li> <li>● パスワード プロキシサーバに接続する際のパスワードを設定します。</li> <li>● 「リセット」 不明</li> <li>● 「設定」 押下すると各項目に入力した値が保存され、再起動後に反映されます。</li> </ul>
「VPN 管理設定」	<p>押下すると「VPN 管理設定」画面に移動します。</p>

## ■「VPN 管理設定」画面

システム

VPN 管理

VPN 管理設定

項目	内容
管理サーバのアドレス	管理サーバの IP アドレスを設定します。
接続先情報	接続先の <b>不明 * 3</b> を表示します。
WAN 側からのアクセス	WAN 側からのアクセスを有効にするかどうかを設定します。
暗号方式	使用する暗号方式を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● Blowfish</li> <li>● AES-128</li> <li>● AES-192</li> <li>● AES-256</li> <li>● 暗号化なし</li> </ul>
「設定」	押下すると「管理サーバのアドレス」、「WAN 側からのアクセス」、「暗号方式」に入力した値が保存され、再起動後に反映されます。
仮想ハブへ接続するための設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「接続」 押下すると、仮想ハブの管理メニューへ接続します。</li> </ul>
VPN 認証キーの削除	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「削除」 押下すると、VPN 認証キーを削除します。</li> </ul>
VPN 設定初期化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「初期化」 押下すると、VPN 設定内容を工場出荷状態に初期化します。</li> </ul>



## 通信インターフェース（EP）

### 「通信インターフェース」画面

システム 通信インターフェース

Logout

運転監視
デマンド監視
レポート
ログ
設備登録
システム
グラフ管理

ネットワーク設定
VPN設定
通信インターフェース
タイムゾーン
データ転送設定
制御パラメータ
ユーザ登録

日毎スケジュール
マスタスケジュール
メンテナンス
ゲートサーバ
トレンド設定
デマンド転送設定
管理グループ登録

### 通信インターフェース

	接続	接続機器	ボーレート	データ長	パリティ	ストップ	IPアドレス
ポート1選択	有効 <input type="checkbox"/>	照明：C-IFU	9600BPS	8Bit	偶数	1Bit	<input type="text"/>
ポート2選択	有効 <input type="checkbox"/>	空調：模擬	9600BPS	8Bit	偶数	1Bit	<input type="text"/>

設定

項目	内容
ポート1選択、ポート2選択	(ポート1選択、ポート2選択の説明文) <ul style="list-style-type: none"> <li>● 接続</li> <li>● 接続機器</li> <li>● ボーレート</li> <li>● データ長</li> <li>● パリティ</li> <li>● ストップ</li> <li>● IPアドレス</li> </ul>
「設定」	

## タイムゾーン

### 「タイムゾーン」画面

システム

タイムゾーン

**タイムゾーン**

地区  選択 日の出- 5:22 日の入り- 17:56

日時

シーズン設定(夏)   ~   下限温度設定  °C

シーズン設定(冬)   ~   上限温度設定  °C

NTPサーバ NTPサーバアドレス   リトライ回数  ウェイトタイマ

項目	内容
地区	<p>本機を設置する地区の都道府県を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「選択」 押下すると、本機の設置場所が選択した都道府県に設定され、日の出、日の入りの時刻が再表示されます。</li> </ul>
日時	<p>本機に内蔵された時計の年月日/時刻を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「時刻設定」 押下すると、設定した年月日/時刻が本機設定されます。</li> </ul>
シーズン設定	<p>夏期シーズンと冬期シーズンの期間と、その期間に適用される下限・上限の温度を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「設定」 押下すると、各シーズンの期間と下限・上限温度が設定されます。</li> </ul>
NTP サーバ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● NTP サーバアドレス 利用する NTP サーバのアドレスを設定します。最大 3 つまで設定可能です。</li> <li>● リトライ回数 NTP サーバへの接続リトライ回数の上限を設定します。</li> <li>● ウェイトタイマ NTP サーバへの接続を行う間隔を設定します。</li> <li>● 「設定」 押下すると、NTP サーバアドレス、リトライ回数、ウェイトタイマの値を本機に保存し、再起動後に反映されるようにします。</li> </ul>

## データ転送設定

### 「データ転送設定」画面

システム

データ転送設定

gateserver2 Logout

運転監視	デマンド監視	レポート	ログ	設備登録	システム	グラフ管理
ネットワーク設定	VPN設定	通信インターフェース	タイムゾーン	データ転送設定	制御パラメータ	ユーザ登録
日毎スケジュール	マスタスケジュール	メンテナンス	ゲートサーバ	トレンド設定	デマンド転送設定	管理グループ登録

### データ転送設定

	単一ファイル			日毎ファイル		
FTPサーバIPアドレス	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
FTPクライアントユーザ名	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
FTPクライアントパスワード	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
FTPサーバ初期フォルダ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
FTP転送ファイル指定	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
自動転送タイム	1分 <input type="text"/>	1分 <input type="text"/>	1分 <input type="text"/>	1分 <input type="text"/>	1分 <input type="text"/>	1分 <input type="text"/>
FTPサーバ接続トライ回数	0回 <input type="text"/>	0回 <input type="text"/>	0回 <input type="text"/>	0回 <input type="text"/>	0回 <input type="text"/>	0回 <input type="text"/>
転送時刻指定1	00 <input type="text"/> 00 <input type="text"/>	00 <input type="text"/> 00 <input type="text"/>	00 <input type="text"/> 00 <input type="text"/>	00 <input type="text"/> 00 <input type="text"/>	00 <input type="text"/> 00 <input type="text"/>	00 <input type="text"/> 00 <input type="text"/>
転送時刻指定2	00 <input type="text"/> 00 <input type="text"/>	00 <input type="text"/> 00 <input type="text"/>	00 <input type="text"/> 00 <input type="text"/>	00 <input type="text"/> 00 <input type="text"/>	00 <input type="text"/> 00 <input type="text"/>	00 <input type="text"/> 00 <input type="text"/>

項目	内容
FTP サーバ IP アドレス	<ul style="list-style-type: none"> <li>単一ファイル ファイル送信先となる FTP サーバの IP アドレスを設定します。</li> <li>日毎ファイル ファイル送信先となる FTP サーバの IP アドレスを設定します。</li> </ul>
FTP クライアントユーザ名	<ul style="list-style-type: none"> <li>単一ファイル ファイル送信先となる FTP サーバの接続ユーザ名を設定します。</li> <li>日毎ファイル ファイル送信先となる FTP サーバの接続ユーザ名を設定します。</li> </ul>
FTP クライアントパスワード	<ul style="list-style-type: none"> <li>単一ファイル ファイル送信先となる FTP サーバの接続パスワードを設定します。</li> <li>日毎ファイル ファイル送信先となる FTP サーバの接続パスワードを設定します。</li> </ul>
FTP サーバ初期フォルダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>単一ファイル ファイル送信先となる FTP サーバのファイル保存先フォルダを設定します。</li> <li>日毎ファイル ファイル送信先となる FTP サーバのファイル保存先フォルダを設定します。</li> </ul>
FTP 転送ファイル指定	<ul style="list-style-type: none"> <li>単一ファイル 送信対象とするファイルを設定します。</li> <li>日毎ファイル</li> </ul>

	使用しません。(トレンドデータファイル 1,2,3 が送信対象となります)
自動転送タイマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 単一ファイル ファイルの送信間隔を設定します。時刻指定での送信としたい場合は、選択肢から「時刻指定」を選択します。</li> <li>● 日毎ファイル ファイルの送信間隔を設定します。時刻指定での送信としたい場合は、選択肢から「時刻指定」を選択します。</li> </ul>
FTP サーバ接続リトライ回数	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 単一ファイル FTP サーバへの接続に失敗したときのリトライ回数を設定します。</li> <li>● 日毎ファイル FTP サーバへの接続に失敗したときのリトライ回数を設定します。</li> </ul>
転送時刻指定 1,2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 単一ファイル 自動転送タイマで「時刻指定」を選択したときに、ファイルが送信される時刻を設定します。転送時刻はファイルにつき 2 件まで設定できます。</li> <li>● 日毎ファイル 自動転送タイマで「時刻指定」を選択したときに、ファイルが送信される時刻を設定します。転送時刻はファイルにつき 2 件まで設定できます。</li> </ul>
「設定」	押下すると、設定された内容を本機に保存し、再起動後に反映されるようにします。

## 制御パラメータ

### 「制御パラメータ」画面

システム 制御パラメータ

gateserver2
Logout

運転監視
デマンド監視
レポート
ログ
設備登録
システム
グラフ管理

ネットワーク設定
VPN設定
通信インターフェース
タイムゾーン
データ転送設定
制御パラメータ
ユーザ登録

日毎スケジュール
マスタスケジュール
メンテナンス
ゲートサーバ
トレンド設定
デマンド転送設定
管理グループ登録

### 制御パラメータ

◆デマンドパラメータ

	デマンド制御1	デマンド制御2
使用	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
係数1	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="1"/>
係数2	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>
名称	<input type="text" value="---"/>	<input type="text" value="---"/>
エニイワイヤ	---	---
アドレス	---	---
CH番号	---	---
積算桁設定	<input type="text" value="7桁"/>	<input type="text" value="7桁"/>
表示単位	<input type="text" value="k"/>	<input type="text" value="k"/>
表示単位系	<input type="text" value="W"/>	<input type="text" value="W"/>
デマンド時間幅	<input checked="" type="radio"/> 30分 <input type="radio"/> 60分	<input checked="" type="radio"/> 30分 <input type="radio"/> 60分
制御出力ON値	<input type="text" value="1100"/>	<input type="text" value="1100"/>
目標デマンド値	<input type="text" value="1000"/>	<input type="text" value="1000"/>
制御出力OFF値	<input type="text" value="900"/>	<input type="text" value="900"/>
予測用時間幅 [秒]	<input type="text" value="1分0秒"/>	<input type="text" value="1分0秒"/>
マスク時間 [分]	<input type="text" value="10秒"/>	<input type="text" value="10秒"/>
制御ONディレイタイム	<input type="text" value="1分"/>	<input type="text" value="1分"/>
最小起動タイム	<input type="text" value="3分"/>	<input type="text" value="3分"/>
制御OFF復帰順	<input type="radio"/> 出力正順 <input checked="" type="radio"/> 出力逆順	<input type="radio"/> 出力正順 <input checked="" type="radio"/> 出力逆順
制御OFFディレイタイム	<input type="text" value="10秒"/>	<input type="text" value="10秒"/>
再起動遅延タイム	<input type="text" value="2分"/>	<input type="text" value="2分"/>
デマンド出力	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

◆ナイトルールパラメータ

温度設定

停止

間欠運転

◆日の出/日の入り制御パラメータ

日の出制御時刻

日の入り制御時刻

◆吐圧制御

監視時間

◆OAダンパ制御

監視時間

◆外気冷房制御

監視時間

◆アナログ閾値判断

監視時間

項目	内容
デマンドパラメータ	<p>デマンド制御設定は2種類登録でき、次の設定が可能です。</p> <p> <b>本機はパルスカウンタを用いてデマンド収集します。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 使用 設定を使用するか否かの設定です。</li> <li>● 係数1・2 パルスカウンタからの入力値を変換する係数の設定です。 変換式は次の通りです。 [入力値]×[係数1]+[係数2]</li> <li>● 名称 入力に使用するパルスカウンタセンサーの設定です。本機に登録されたパルスカウンタの名称を選択します。</li> </ul>

45

	<p>選択すると下部に選択されたパルスカウンタのエニイワイヤバスの I/O 方式、アドレス、CH 番号が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 積算桁設定 使用するパルスカウンタの最大出力桁数の設定です。</li> <li>● 表示単位 表示するデマンド値の単位の設定です。</li> <li>● 表示単位系 表示するデマンド値の単位系の設定です。</li> <li>● デマンド時間幅 デマンド値の集計期間の設定です。</li> <li>● 制御出力 ON 値 集計期間において、制御出力を ON にする閾値はここでの設定値に向けて値 0 から一時関数的に増加するデマンド値が設定されます。</li> <li>● 目標デマンド値 デマンド監視グラフでの可視化のために使用される目安値で、集計期間において、ここでの設定値に向けて値 0 から一時関数的に増加するグラフが描画されます。</li> <li>● 制御出力 OFF 値 集計期間において、制御出力を OFF にする閾値はここでの設定値に向けて値 0 から一時関数的に増加するデマンド値が設定されます。</li> <li>● 予測用時間幅 [秒] 増加予測のための直前のデマンド値に対するサンプリング期間の設定です。</li> <li>● マスク時間 [分] 集計期間において、制御出力を行わない集計開始からの時間の設定です。</li> <li>● 制御 ON ディレイタイマ 制御 ON 出力後、次の段数の制御出力に進むまでの待機時間の設定です。</li> <li>● 最小起動タイマ 制御出力 ON の状態を維持する最小時間の設定です。</li> <li>● 制御 OFF 復帰順 制御 OFF を行う順番を 1 段→3 段とするか、3 段→1 段とするかの設定です。</li> <li>● 制御 OFF ディレイタイマ 制御 OFF 出力後、次の段数の制御出力に進むまでの待機時間の設定です。</li> <li>● 再起動遅延タイマ 制御出力 OFF の状態を維持する最小時間の設定です。</li> <li>● デマンド出力 デマンド状態を Modbus に出力するか否かの設定です。</li> </ul>
パトロールパラメータ	<p>次のパトロールスケジュールの実行間隔の設定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 温度設定</li> <li>● 停止</li> <li>● 間欠運転</li> </ul>

日の出/日の入り制御 パラメータ	日の出、日の入り時刻による照明機器の制御において、その時刻に対する調整値の設定です。
吐出圧制御	未使用
OA ダンパ制御	未使用
外気冷房制御	未使用
アナログ閾値判断	未使用
「設定」	押下すると各項目に入力した値が保存され、本機の動作に反映されます。

## ユーザー登録

### 「ユーザー登録」画面

システム

ユーザー登録

gateserver2 Logout

運転監視 デマンド監視 レポート ログ 設備登録 システム グラフ管理

ネットワーク設定 VPN設定 通信インターフェース タイムゾーン データ転送設定 制御パラメータ ユーザ登録

日毎スケジュール マスタスケジュール メンテナンス ゲートサーバ トレンド設定 デマンド転送設定 管理グループ登録

### ユーザ登録

[管理グループ登録へ](#)

ユーザ名

パスワード

氏名

メールアドレス

種別

デマンド警報

システム障害

#### ユーザー一覧

ID	ユーザ名	種別	氏名	操作
1	root	スーパー管理者	System Admin	

10 Page 1 of 1 Displaying 1 to 1 of 1 items

項目	内容
「管理グループ登録へ」	クリックすると「管理グループ登録」画面に移動します。
ユーザー名【必須】	ユーザー名を設定します。
パスワード【必須】	ユーザーのパスワードを設定します。
氏名	ユーザーの氏名を設定します。
メールアドレス	ユーザーのメールアドレスを設定します。 メールアドレスはそれぞれ5つまで登録可能です。 閾値警報が発生した場合の通知に使用されるアドレスです。
種別	ユーザーの種別を設定します。ユーザーの種別は以下の3種類です。 ・ User (一般ユーザー) ・ Admin (管理者)



	・ SuperAdmin（スーパ管理者）
デマンド警報	デマンド警報を送信する先のメールアドレスを設定します。 デマンド警報が発生した場合の通知に使用されるアドレスです。
システム障害	システム障害を送信する先のメールアドレスを設定します。 断線検知警報が発生した場合の通知に使用されるアドレスです。
「取消」	押下すると、設定中のユーザー情報がクリアされます。
「登録」	押下すると、設定中のユーザー情報が本機に保存されます。
ユーザー一覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「削除」 押下すると、一覧で選択中のユーザーが削除されます。</li> <li>● ユーザー一覧 本機に保存されているユーザーが一覧形式で表示されます。</li> <li>● 検索 検索ワード 検索に使う文字列を設定します。 検索キー（ユーザー名、氏名） 検索対象とする項目をユーザー名、氏名から選択します。 「Clear」 検索条件及び検索結果をクリアし、初期状態に戻します。</li> <li>● 表示件数 一覧に表示されている件数を表示します。</li> <li>● ページ移動 ユーザー一覧が複数ページにまたがっている場合、一覧を前後のページに遷移します。</li> <li>● 現在ページ 現在表示しているユーザー一覧が、全何ページ中の何ページ目かを表示します。</li> <li>● ユーザー一覧更新 表示内容を最新の情報に更新します。</li> </ul>

「管理グループ登録」画面

システム

ユーザー登録

管理グループ登録

Logout

運転監視

デマンド監視

レポート

ログ

設備登録

システム

グラフ管理

ネットワーク設定

VPN設定

通信インターフェース

タイムゾーン

データ転送設定

制御パラメータ

ユーザ登録

日毎スケジューラ

マスタスケジューラ

メンテナンス

ゲートサーバ

トレンド設定

デマンド転送設定

管理グループ登録

管理グループ登録

[ユーザ登録へ](#)

GateServer2

管理グループ1

階層1

監視フォルダ1

監視フォルダ2

階層2

登録テスト

管理グループ2

管理グループ名	/GateServer2/	管理グループID	0001								
新規	<input type="text"/>	(半角/は使用しないで下さい) <input type="button" value="登録"/>									
変更	<input type="text" value="GateServer2"/>	(半角/は使用しないで下さい) <input type="button" value="変更"/>									
削除	<input type="button" value="削除"/>										
ユーザ選択	<input type="text" value="root (スーパー管理者) [System Admin]"/> <input type="button" value="選択"/>										
選択済ユーザ	<table><tr><td>ユーザ名</td><td>種別</td><td>氏名</td><td>操作</td></tr><tr><td>root</td><td>スーパー管理者</td><td>System Admin</td><td><input type="button" value="削除"/></td></tr></table>	ユーザ名	種別	氏名	操作	root	スーパー管理者	System Admin	<input type="button" value="削除"/>		
ユーザ名	種別	氏名	操作								
root	スーパー管理者	System Admin	<input type="button" value="削除"/>								

項目	内容
「ユーザー登録へ」	クリックすると「ユーザー登録画面」に移動します。
フォルダツリー	管理グループを表示・選択します。 管理グループを選択すると画面右側に選択した管理グループの情報が表示されます。
管理グループ名	フォルダツリーで選択した管理グループの管理グループ名が表示されます。
管理グループ I D	フォルダツリーで選択した管理グループの管理グループ ID が表示されます。
新規	フォルダツリーで選択した管理グループの下に新規に管理グループを設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>「登録」 押下すると設定した名称で管理グループが新規に追加されます。</li></ul>
変更	フォルダツリーで選択した管理グループの管理グループ名を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>「変更」 押下すると設定した管理グループ名が変更され本機に保存されます。</li></ul>
削除	フォルダツリーで選択した管理グループを削除します。 <ul style="list-style-type: none"><li>「削除」</li></ul>

50

	押下すると、選択されている管理グループが本機から削除されます。
ユーザー選択	管理グループに紐付けるユーザーを設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 「選択」 押下すると、選択されているユーザーが管理グループに紐付けられ、本機に保存されます。</li></ul>
選択済ユーザー	フォルダツリーで選択された管理グループに紐付けられたユーザーが一覧形式で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>● ユーザー名 ユーザー名が表示されます。</li><li>● 種別 ユーザーの種別が表示されます。</li><li>● 氏名 ユーザーの氏名が表示されます。</li><li>● 削除 押下すると、ユーザーと管理グループとの紐付けが解除されます。</li></ul>

# 日毎スケジュール（EP）

「システム / 日毎スケジュール」画面

システム

日毎スケジュール



Logout

運転監視

デマンド監視

レポート

ログ

設備登録

システム

グラフ管理

ネットワーク設定

VPN設定

通信インターフェース

タイムゾーン

データ転送設定

制御パラメータ

ユーザ登録

日毎スケジュール

マスタスケジュール

メンテナンス

ゲートサーバ

トレンド設定

デマンド転送設定

### システム / 日毎スケジュール

日毎スケジュール

スケジュール一括起動

スケジュール一括停止

空調設備

照明設備

//

選択:

マスタ: /

名称:

日毎読出

日毎書込

マスタ読出

マスタ書込

I/F:

アドレス:

00010203040506070809101112131415161718192021222324

設定

削除

設定

削除

設定

削除

設定

削除

設定

削除

設定

削除

2017年5月

月火水木金土日

24252627282930

1234567

891011121314

15161718192021

22232425262728

2930311234

照明設備設定一覧

設定コピー

設定貼付


全貼付

削除

名称	I/F	種別	Ch	負荷	稼動	調光	パターン	グループ	管理Gr1	管理Gr2	管理Gr3	デマンド
----	-----	----	----	----	----	----	------	------	-------	-------	-------	------

項目	内容
「スケジュール一括起動」	押下すると登録されているすべての機器のスケジュール機能を有効にします。
「スケジュール一括停止」	押下すると登録されているすべての機器のスケジュール機能を無効にします。
対象設備タブ	スケジュール設定対象の設備を切り替えます。
「日毎読出」	押下すると保存されたスケジュールをスケジュール一覧に表示します。 <div>💡 対象日をカレンダーから、対象設備を設備設定一覧からあらかじめ選択しておきます。</div>
「日毎書込」	押下するとスケジュール一覧に表示中のスケジュールを保存します。 <div>💡 対象日をカレンダーから、対象設備を設備設定一覧からあらかじめ選択しておきます。</div>

52

「マスタ読出」	<p>押下するとマスタスケジュールをスケジュール一覧に表示します。</p> <p> <b>対象日をカレンダーからあらかじめ選択しておきます。</b></p>
「マスタ書込」	未使用機能
スケジュール一覧	<p>登録されたスケジュールが一覧されます。それぞれのスケジュールには次の項目が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アクション スケジュールのアクション種別が表示されます。</li> <li>● 「設定」 押下するとスケジュール設定画面が表示されます。（後述）</li> <li>● 状態 スケジュールの状態（有効・無効）が表示されます。</li> <li>● 「削除」 押下すると該当スケジュールを削除します。</li> <li>● タイムライン スケジュールが設定されている時間帯が色づけ表示されます。 スケジュールは最大 20 件登録できます。</li> </ul>
カレンダー	設定対象日を選択します。
照明設備設定一覧／空調設備設定一覧	<p>本機に登録されている照明機器、空調機器が一覧されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「設定コピー」 押下すると選択している機器が設定コピー元としてマークされます。</li> <li>● 「設定貼付」 押下すると選択している機器の設定がコピー元にマークされた機器の設定で上書きされます。</li> <li>● 「全貼付」 押下すると一覧されているすべての機器の設定がコピー元にマークされた機器の設定で上書きされます。</li> <li>● 「削除」 押下すると選択している機器の設定が削除されます。</li> </ul>

## マスタスケジューラ（EP）

### 「システム / マスタスケジューラ」画面

システム
マスタスケジューラ

Logout

運転監視
デマンド監視
レポート
ログ
設備登録
システム
グラフ管理

ネットワーク設定
VPN設定
通信インターフェース
タイムゾーン
データ転送設定
制御パラメータ
ユーザ登録

日毎スケジューラ
マスタスケジューラ
メンテナンス
ゲートサーバ
トレンド設定
デマンド転送設定

### システム / マスタスケジューラ

対象管理グループ

対象季

運転種別

マスタスケジューラ

管理グルー▽ 階層1▽ 監視フォル▽

夏季▽ 平運▽

空調設備

照明設備

対象設備タブ

テナントID: 0004
管理グルー / 階層1 / 監視フォル / 夏季 / 平運
マスタ読み出し
マスタ書き込み
マスタ削除

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
なし																									
なし																									
なし																									
なし																									
なし																									
なし																									

2017年5月
 

24	25	26	27	28	29	30
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

- タイトル色 -  
 夏季  
 冬季  
 中間季  
 - 日付色 -  
 平運  
 休運  
 特運1  
 特運2  
 特運3

### パターン設定

対象管理グループ

対象季

運転種別設定

管理Gr 管理グルー▽ 階層1▽ 監視フォル▽

夏季▽

パターン読み込み

パターン設定

特殊日設定

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	祝日	特殊日1	特殊日2	特殊日3
休運	平運	平運	平運	平運	平運	休運	休運	---	---	---




2017年 05月 22日
 読み出し
平運
平運
1日毎登録

一日ごと設定


### ◆ マスタスケジューラ

項目	内容
対象管理グループ	設定対象とする管理グループを指定します。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 15px; height: 15px; background-color: #add8e6; border-radius: 50%; margin-right: 5px;"></div> 「マスタ読み出し」押下時に作用します。 </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 15px; height: 15px; background-color: #add8e6; border-radius: 50%; margin-right: 5px;"></div> 指定をしない場合、共通設定となります。 </div> </div>
対象季	設定対象とする季を指定します。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 15px; height: 15px; background-color: #add8e6; border-radius: 50%; margin-right: 5px;"></div> 「マスタ読み出し」押下時に作用します。 </div> </div>
運転種別	設定対象とする運転種別を指定します。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 15px; height: 15px; background-color: #add8e6; border-radius: 50%; margin-right: 5px;"></div> 選択肢は次の通りです。 </div> <div style="margin-top: 5px;">             平運： 平日運転              休運： 休日運転              特運1： 特殊日運転1           </div> </div>

54

	<p>特運 2 : 特殊日運転 2</p> <p>特運 3 : 特殊日運転 3</p> <p> 「マスタ読み出し」 押下時に作用します。</p>
「マスタ読み出し」	押下すると現在選択中の設備のスケジュール情報を読み込みます。
「マスタ書き込み」	押下すると現在選択中の設備のスケジュール情報を保存します。
「マスタ削除」	<p>押下すると現在選択中の設備のスケジュール情報を消去します。</p> <p> <b>画面上には設定が残ります！</b></p> <p>誤って削除してしまった場合は「マスタ書き込み」を押下してスケジュール情報を保存してください。また、新規にスケジュールを設定する場合は「マスタ読み出し」を押下してスケジュール情報をクリアしてください。</p>
対象設備タブ	スケジュール設定対象の設備を切り替えます。
テナント ID	スケジュール紐付いた管理グループの ID が自動採番され表示されます。
スケジュール一覧	<p>対象機器と日付に登録されたスケジュールが一覧されます。それぞれのスケジュールには次の項目が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アクション スケジュールのアクション種別が表示されます。</li> <li>● 「設定」 押下するとスケジュール設定画面が表示されます。（後述の「スケジュール設定」を参照のこと）</li> <li>● 状態 スケジュールの状態（有効・無効）が表示されます。</li> <li>● 「削除」 押下すると該当スケジュールを削除します。</li> <li>● タイムライン スケジュールが設定されている時間帯が色づけ表示されます。</li> </ul> <p> <b>スケジュールは最大 20 件登録できます。</b></p>
カレンダー	設定されている運転種別が日付ごとに色分けされて表示されます。

#### ◆ パターン設定



項目	内容
対象管理グループ	<p>設定するパターンの管理グループを指定します。</p> <p> <b>指定しない場合、共通設定となります。</b></p>
対象季	設定するパターンの対象季を指定します。
「パターン読込」	押下すると指定中の管理グループ、季に登録されたパターンを表示します。
「パターン設定」	押下すると指定中の管理グループ、季にパターンを登録します。
運転種別設定	曜日に対応する運転種別を設定します。
特殊日設定	<p>次の組み合わせにて特殊日 1 ～ 3 の定義を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 条件</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>● 曜日</li></ul>
一日ごと設定	<p>曜日ごとの設定にかかわらず、特定の日に運転種別を登録します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 対象日 登録する日付を指定します。</li><li>● 「読出」 押下すると対象日に設定されている運転種別を右に表示します。</li><li>● 設定値 登録する運転種別を指定します。</li><li>● 「1 日毎登録」 運転種別を登録します。</li></ul>

◆ スケジュール設定

項目	内容
アクション	スケジュールするアクションを設定します。またアクションが間欠運転の場合、さらに運転対象が設定できます。
スケジュール	<p>スケジュールの状態と時間帯を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 状態（有効・無効） 登録のみで動作させない場合は無効を設定します。</li><li>● 時間帯 スケジュールの開始と終了時刻を設定します。</li></ul> <p> <b>開始と終了が逆になる設定は登録できません。</b></p>
温調モード	<p>設備に設定する自動調整モードを設定します。</p> <p> <b>アクションが[運転]の場合のみ指定が可能です。</b></p>
リモコン操作	<p>設備に設定するリモコン操作の可否を設定します。</p> <p> <b>アクションが[運転]の場合のみ指定が可能です。</b></p>
運転モード	<p>設備に設定する運転モードを設定します。</p> <p> <b>アクションが[運転]の場合のみ指定が可能です。</b></p>
設定温度	<p>設備に設定する温度を設定します。</p> <p> <b>アクションが[運転]もしくは[パトロール（温度設定）]、[間欠運転]の[温度設定]の場合のみ指定が可能です。</b></p>
風量	設備に設定する風量を設定します。



	 <b>アクションが[運転]の場合のみ指定が可能です。</b>
風向	設備に設定する風向を設定します。  <b>アクションが[運転]の場合のみ指定が可能です。</b>
「設定」	押下するとスケジュールがスケジュール一覧に反映されます。
「キャンセル」	押下するとスケジュール設定画面が非表示になります。

## メンテナンス

### 「メンテナンス」画面

システム
メンテナンス

gateserver2

Logout

運転監視
デマンド監視
レポート
ログ
設備登録
システム
グラフ管理

ネットワーク設定
VPN設定
通信インターフェース
タイムゾーン
データ転送設定
制御パラメータ
ユーザ登録

日毎スケジュール
マスタスケジュール
メンテナンス
ゲートサーバ
トレンド設定
デマンド転送設定
管理グループ登録

### メンテナンス

名称

コピーライト

トップリンク先

ロゴ1リンク先

ロゴ2リンク先

トップ

ロゴ1

ロゴ2

ファームウェア

現在

設定データバックアップ

設定データリストア

ログデータバックアップ

ログデータリストア

バックアップ

リストア

ゲートサーバサービス 運転中

ゲートサーバ動作

項目	内容
トップ画面設定	<p>トップページに表示される情報を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 名称 トップ画面に表示する本機の名称を設定します。</li> <li>● コピーライト トップ画面に表示するコピーライトの文言を設定します。</li> <li>● トップリンク先 画面左上に表示するロゴをクリックされた際の遷移先を設定します。</li> <li>● ロゴ1リンク先 トップ画面中央に表示されるロゴをクリックされた際の遷移先を設定します。</li> <li>● ロゴ2リンク先 トップ画面中央下部に表示されるロゴをクリックされた際の遷移先を設定します。</li> </ul>
トップ画面ロゴ設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● トップ 画面左上に表示されるロゴのイメージファイルを設定します。「参</li> </ul>

58

	<p>照」ボタンを押下してファイルを指定し、「設定」ボタンを押下にして本機に保存します。</p> <p>使用可能なファイル種別は jpg、gif、png です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ログ1 画面中央に表示されるロゴのイメージファイルを設定します。「参照」ボタンを押下してファイルを指定し、「設定」ボタンを押下にして本機に保存します。 <p>使用可能なファイル種別は jpg、gif、png です。</p> <li>● ログ2 画面中央下部に表示されるロゴのイメージファイルを設定します。「参照」ボタンを押下してファイルを指定し、「設定」ボタンを押下にして本機に保存します。 <p>使用可能なファイル種別は jpg、gif、png です。</p> </li></li></ul>
ファームウェア	<p>本機のファームウェアを更新します。</p> <p>「参照」ボタンを押下して、ファームウェアファイルを指定し、「更新」をクリックすると本機のファームウェアが更新されます。</p>
設定データバックアップ/設定データリストア	<p>本機の設定データをバックアップ/リストアします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定データバックアップ 設定データをバックアップします。 「バックアップ」ボタンを押下すると、設定のバックアップデータをブラウザからダウンロード出来ます。</li> <li>● 設定データリストア 設定データをリストアします。 「参照」ボタンを押下してファイルを指定し、「リストア」ボタンを押下してリストアを実行します。</li> </ul>
ログデータバックアップ/ログデータリストア	<p>本機のログデータをバックアップ/リストアします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ログデータバックアップ ログデータをバックアップします。 「バックアップ」ボタンを押下すると、設定のバックアップデータをブラウザからダウンロード出来ます。</li> <li>● ログデータリストア ログデータをリストアします。 「参照」ボタンを押下してファイルを指定し、「リストア」ボタンを押下してリストアを実行します。</li> </ul>
バックアップ/リストア	<p>電池バックアップされているデータを本機上の専用エリアを使いバックアップ/リストアします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● バックアップ 押下すると、電池バックアップされているデータを本機上の専用エリアにバックアップします。</li> <li>● リストア 押下すると、電池バックアップされているデータを、本機上の専用エリアにバックアップされているデータでリストアします。</li> </ul>
ゲートサーバサービス	<p>デマンド、トレンドなどのゲートサーバサービスを一括で起動/停止します。</p>

	<p>運転中の場合：運転中との文言と「サービス一括停止」ボタンが表示されます。押下するとゲートサーバサービスを一括で停止します。</p> <p>停止中の場合：停止中との文言と「サービス一括起動」ボタンが表示されます。押下するとゲートサーバサービスを一括で起動します。</p>
ゲートサーバ動作	「再起動」ボタンを押下すると、本機を再起動します。

## トレンド設定

### 「トレンド設定」画面

システム

トレンド設定

gateserver2 Logout

運転監視	デマンド監視	レポート	ログ	設備登録	システム	グラフ管理
ネットワーク設定	VPN設定	通信インターフェース	タイムゾーン	データ転送設定	制御パラメータ	ユーザ登録
日毎スケジュール	マススケジュール	メンテナンス	ゲートサーバ	トレンド設定	デマンド転送設定	管理グループ登録

### トレンド設定

空調・照明トレンド	一般設備トレンド1	一般設備トレンド2	一般設備トレンド3
サンプリング時間[秒]	60	60	60
書き込み[回/サンプリング時間]	1	1	1
保管個数	60	60	60
CSV保管メディア	SD/SSD	RAMディスク	RAMディスク
積算差分タイム	1分	1分	1分
保管ファイル数	1日分	1日分	1日分
保管ファイル名	YYYYMMDD_ac[lt]_[01].csv	YYYYMMDD_gr.csv	YYYYMMDD_gr.csv
ヘッダーフォーマット	YY/MM/DD,HH:MM:SS(カンマ区切り)	YY/MM/DD,HH:MM:SS(カンマ区切り)	YY/MM/DD,HH:MM:SS(カンマ区切り)

設定

項目	内容
トレンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>空調・照明トレンド 空調・照明機器トレンドの収集条件を設定します。</li> <li>一般設備トレンド1～3 一般設備トレンドの収集条件を設定します。1～3まで最大3種類の収集条件を設定できます。</li> </ul>
サンプリング時間[秒]	トレンドのサンプリング時間を設定します。
書き込み[回/サンプリング時間]	ファイルへの書き込み頻度を設定します。 単位はサンプリング回数です。
保管個数	本機内部で使用される値です。 サンプリング時間 × 書き込み[回/サンプリング時間] × 1.5 の値を設定します。
CSV 保管メディア	ファイルを出力するメディアを選択します。 以下のメディアが選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ RAM ディスク</li> <li>・ SD/SSD ※通常はこちらを選択してください。</li> </ul>
積算差分タイム	積算差分タイムの値を設定します。
保管ファイル数	保管するファイルの数を日数、週数、月数のいずれかで設定します。
保管ファイル名	保管するファイルの名前を設定します。
ヘッダーフォーマット	ファイル中の値の区切文字を設定します。以下の2種類が選択可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ YY/MM/DD,HH:MM:SS（カンマ区切り）</li> </ul>

	● YY/MM/DD,HH:MM:SS（空白区切り）
「設定」	押下すると設定を本機に保存し、再起動後に反映されます。

## デマンド転送設定（EP）

### 「デマンド転送設定」画面

システム

デマンド転送設定

**デマンド転送設定**

有効/無効設定: 無効

デマンド系統選択: 1系

FTPサーバIPアドレス:

FTPクライアントユーザ名:

FTPクライアントパスワード:

FTPサーバ初期フォルダ: /

自動転送タイマ: 60分

FTPサーバ接続リトライ回数: 3回

転送基準時刻: 01

連携トレンド番号: 連携なし

サンプリング時間[秒]: 60

書き込み[回/サンプリング時間]: 1

CSV保管メディア: SD/SSD

保管ファイル名: \_YYYYMMDDhhdd\_dem.csv

設定

項目	内容
有効/無効設定	デマンド転送の有効/無効を設定します。
デマンド系統選択	転送対象とするデマンドの系統を設定します。
FTP サーバ IP アドレス	転送先 FTP サーバの IP アドレスを設定します。
FTP クライアントユーザ名	転送先 FTP サーバへ接続する際のユーザー名を設定します。
FTP クライアントパスワード	転送先 FTP サーバへ接続する際のパスワードを設定します。
FTP サーバ初期フォルダ	転送先 FTP サーバ上のファイルを保管するフォルダを設定します。
自動転送タイマ	デマンド転送を行う間隔を設定します。
FTP サーバ接続リトライ回数	転送先 FTP サーバに接続する際のリトライ回数を設定します。
転送基準時刻	転送基準時刻を設定します。
連携トレンド番号	「トレンド設定」画面で定義したトレンド 1～3 を転送したい場合、転送したいトレンドを設定します。

	「トレンド設定」画面で定義したトレンド 1～3 以外のトレンドを転送したい場合は、「連携なし」を設定します。
サンプリング時間[秒]	「連携トレンド番号」で「連携無し」を選択した際の、サンプリング時間を秒単位で設定します。
書き込み[回/サンプリング時間]	「連携トレンド番号」で「連携無し」を選択した際の、書き込み[回/サンプリング時間]を設定します。
CSV 保管メディア	「連携トレンド番号」で「連携無し」を選択した際の、ファイル保管先メディアを以下から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ RAM ディスク</li> <li>・ SD/SSD</li> </ul>
保管ファイル名	FTP 転送時のファイル名を設定します。
「設定」	設定を本機に保存し、再起動後に反映します。



---

## 第8章 通信異常時の動作

---

本章では、通信異常が発生した場合の代表的な動作について説明します。

### AnyWire 通信

---

#### 入力

---

入力リモートユニットの故障や断線などで通信できなくなった場合は、“ON”が送られてこなくなるため、入力メモリは自然にクリアとなります。

入力拡張 512W メモリは、CH0 はクリア、CH1～7 は前回値保持となります。

アドレス自動認識が行われていて断線エラーとなった場合は、先頭ワードに対応する拡張 512W メモリ 8 チャンネル分はクリアとなります。

#### 出力

---

マスタの故障・伝送線の断線などで、AnyWire 通信のクロックが停止した場合、出力はリセットされます。

これは、リモートユニット側の機能です。

#### ID エラー

---

AG478-GS-□P は断線検知のため、各リモートユニットに対し ID を送信し、その応答の有無を確認します。

応答が無かった場合、リトライを行い、それでも応答が無い場合に断線エラーと認識します。

### SLMP（MC プロトコル）通信

---

シーケンサと SLMP（MC プロトコル）で通信中、何らかの原因（シーケンサ停止、HUB やケーブル異常等）で一定時間以内応答がなかった場合（タイムアウト）、現在マッピングされている出力メモリをクリアすることができます。

タイムアウトの設定は、100ms 単位で行うことができます。

## Modbus/TCP 通信

---

上位コントローラからのアクセスが、何らかの原因（コントローラ停止、HUB やケーブル異常等）で一定時間以上なかった場合（タイムアウト）、出力メモリをクリアすることができます。

設定によりクリア・ホールドを選択することが出来ます。

## 第9章 トラブルシューティング

本章では、よくあるトラブルシューティングの内容について説明します。

### AnyWire 側

まず次のことを確認してください。

- ① 本ゲートウェイの「RDY」ランプが点灯していること。
- ② すべてのリモートユニットの「RDY」ランプが点灯していること。
- ③ 本ゲートウェイの「LINK.A」ランプが点滅していること。
- ④ すべてのリモートユニットの「LINK」ランプが点滅していること。
- ⑤ すべてのユニットの電源電圧が21.6～27.6Vの範囲にあること。
- ⑥ 配線、接続が確実であること。
- ⑦ リモートユニットのアドレス設定が正確であること、重複していないこと。

(表示部分については、4-1 ページ「4 LED 表示」を参照してください。)

あわせて、弊社作成のテクニカルマニュアルをご覧ください。

#### 症状別チェックリスト

症状	チェック項目
データの入出力ができない	<b>ゲートウェイ側</b> AnyWireBus 伝送線の接続が正しいか 伝送仕様 (MODE スイッチの設定) がリモートユニット側と一致しているか
	<b>リモートユニット側</b> リモートユニットに電源が供給されているか リモートユニットのアドレスは正しく設定されているか
ERR.LED (赤) が点灯	D、G ラインが断線していないか アドレス自動認識を正しくおこなったか 端子台のビスがゆるんでいないか * 検出状態が保持します。リセットコマンドにより解除

ERR.LED（赤）が ゆっくり点滅	D、G ラインが短絡していないか D と 24V が接触していないか * 検出状態は保持しません。
ERR.LED（赤）が 速く点滅	本ゲートウェイに供給している DC24V 電源の電圧が正常か G と 24V が接触していないか * 検出状態は保持しません。

## Ethernet システム側

まず次のことを確認してください。

- ① 本ゲートウェイの「RDY」ランプが点灯していること。
- ② すべてのリモートユニットの「RDY」（POW：Hシリーズの場合）ランプが点灯していること。
- ③ 本ゲートウェイの「LINK」ランプが点滅していること。
- ④ すべてのリモートユニットの「LINK」（SEND：Hシリーズの場合）ランプが点滅していること。
- ⑤ すべてのユニットの電源電圧が21.6～27.6Vの範囲にあること。（本機は24.0Vを推奨）
- ⑥ LANケーブル配線、接続が確実であること。
- ⑦ 各設定値、アドレス設定が正確であること、重複していないこと。

（表示部分については、4-1 ページ 「4 LED 表示」 を参照してください。）

あわせて、ご使用の Ethernet システム取扱説明書をご覧ください。

### 症状別チェックリスト

症状	チェック項目
データの送受信ができない	<b>PC 接続されるユニット側</b>  LAN ケーブルは、クロスとストレート仕様を間違っていないか HUB 装置の電源は入っているか IP アドレス設定は正しいか サブネットマスクの設定は正常か
	<b>ゲートウェイ側</b>  本ゲートウェイに電源が供給されているか 本ゲートウェイの IP アドレスは正しく設定されているか 本ゲートウェイの LAN ケーブルは正しく配線されているか アクセス許可ファイルの設定は正しいか プロトコル選択で使用プロトコルを排除していないか

## 第10章 メンテナンス

### ファクトリーモード

設定した IP アドレスがわからなくなった場合、出荷時の設定で一時的に起動することができます。  
手順は以下の通りです。

[工場出荷設定で起動する方法]

- (1) 電源投入後約 40 秒で、「EJECT」LED が約 5 秒間ゆっくりと点滅します。
- (2) 点滅中に DIP スイッチを上方向(FUNC 側)に 3 秒以上押し上げて、点滅が点灯に変わるのを確認してから指を離します。
- (3) 「EJECT」LED が短い間隔で点滅します。
- (4) 「READY」が点灯したら IP アドレス等が初期設定に一時的に戻る出荷時設定で起動完了です。

この状態で IP アドレスは、各ポート“192.168.0.36”、“192.168.1.36”になっていますので、ブラウザでアクセスし、IP アドレスを確認・変更を行ってください。

この状態ではすべての機能は動作していませんので、設定後必ず再起動してください。

### 内部ファームウェアのアップデート

本ゲートウェイ内部のファームウェアのアップデートが可能です。アップデートには、SD メモリカードが必要です。電源を切った状態で、新しいファームウェアファイルを書き込んだ SD メモリカードを挿入し、電源を再投入すると、自動的に更新されます。SD メモリカードへの新しいファームウェアの書き込みは、PC で直接ファームウェアをコピーしてください。

[更新手順]

- ①SD メモリカードにファームウェアを書き込み
- ②Ethernet ゲートウェイの電源がオフしていることを確認
- ③SD メモリカードを挿入
- ④Ethernet ゲートウェイの電源を入れる
- ⑤立ち上げ LINK.A ランプの点滅を確認（約 1 分間）
- ⑥FUNC ランプの早い点滅を確認（ファームウェア消去中）
- ⑦FUNC ランプの遅い点滅を確認（ファームウェア書き込み中）

⑧書き換え内容により、⑥⑦を最大 3 回繰り返し

⑨RDY が点灯したら、ファームウェアの書き込み完了です。

**注意**

本ゲートウェイのファームウェア更新中には、絶対に電源を落としたり、リセット動作をさせないようにしてください。そのような行為によりゲートウェイが正常に動作しなくなる恐れがあります。

**注意**

本ゲートウェイのファームウェア更新にて、コンフィギュレーションファイルが初期化される場合がありますので、必ず更新前にバックアップをとってください。

## 第11章 保証について

---

### ■保証期間

納入品の保証期間は、ご注文主のご指定場所に納入後 1 箇年とします。

### ■保証範囲

上記保証期間中に、本取扱説明書にしたがった製品仕様範囲内の正常な使用状態で

故障が生じた場合は、その機器の故障部分の交換または修理を無償で行ないます。

ただし、つぎに該当する場合は、この保証範囲から除外させていただきます。

- (1) 需要者側の不適当な取り扱い、ならびに使用による場合。
- (2) 故障の原因が納入品以外の事由による場合。
- (3) 納入者以外の改造、または修理による場合。
- (4) その他、天災、災害などで、納入者側の責にあらざる場合。

ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

### ■有償修理

保証期間後の調査、修理はすべて有償となります。

また保証期間中においても、上記保証範囲外の理由による故障修理、故障原因調査は有償にてお受けいたします。

### ■製品仕様およびマニュアル記載事項の変更

本書に記載している内容は、お断りなしに変更させていただく場合があります。

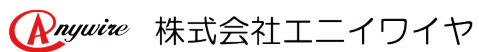


---

## 第12章 変更履歴

---

バージョン	日 付	変更内容
1.0 版	2022/04/18	



本 社 : 〒617-8550 京都府長岡京市馬場園所 1  
TEL: 075-956-1611(代) / FAX: 075-956-1613

営業所 : 西日本営業所、東日本営業所、中部営業所、九州営業所  
<http://www.anywire.jp/>

---

お問い合わせ窓口:

■ テクニカル サポートダイヤル

受付時間 9:00~17:00(土日祝、当社休日を除く)

**075-952-8077**

■ メールでのお問い合わせ [info@anywire.jp](mailto:info@anywire.jp)